

福津市公共施設等総合管理計画

個別施設計画

(庁舎等)

令和4年3月

福津市

目次

第1章 計画の目的等	1
(1) 策定の目的と位置付け	1
(2) 対象となる施設.....	2
(3) 計画期間	2
第2章 更新費用の見込み	3
(1) 施設一覧	3
(2) 試算の前提	13
(3) 試算結果	14
第3章 個別施設の現状と方針	15
1.福祉施設	17
2.社会教育施設	25
3.庁舎	33
4.文化教養施設	38
5.農業施設	43
6.集会施設	50
7.その他の公共用財産	56
8.水産業施設	63
9.消防施設	68
10.観光施設	74
11.幼稚園	80
12.文化財等施設.....	84
13.環境保全施設.....	89
14.公園施設（建物）	94

第1章 計画の目的等

(1) 策定の目的と位置付け

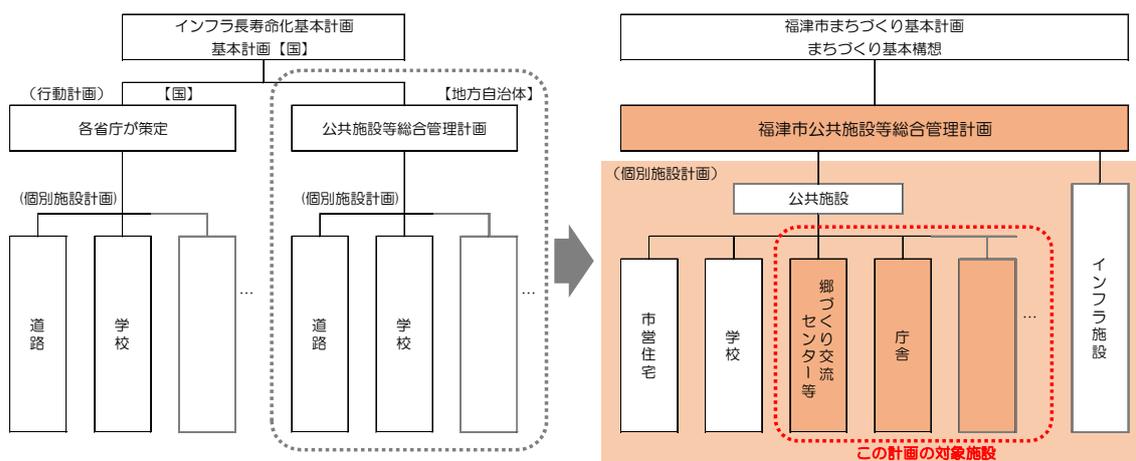
全国の自治体では、過去に建設された公共施設等がこれから大量に大規模改修や建て替えの時期を迎えることが懸念されています。そこで、総務大臣より各自治体に対し、公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進するための計画（公共施設等総合管理計画）の策定に取り組むよう通知が発出されました。

福津市においても、1970年代から1980年代における急激な人口増加に伴い、公共施設の建設、道路などのインフラ整備が行われ、今後、建物の大規模改修や建て替え、舗装等の更新が必要となってくることが予測されます。

こうしたなか、本市では2017（平成29）年3月に「福津市公共施設等総合管理計画」を策定しました。計画においては所有施設の状態や更新にかかる費用の推計、施設区分別の方針等を示しました。また、施設毎の具体的な整備については、その実効性を高めるため、順次「個別施設計画」について別途策定するものとしています。

市では、まちづくりの方向性を示す市の最上位計画として「まちづくり基本構想」を2019（平成31）年3月に策定し、その具体的な実施のため「まちづくり基本計画」に基づき各種事業を行っています。「福津市公共施設等総合管理計画」は「まちづくり基本構想」及び「まちづくり基本計画」に基づき実施される計画として位置づけられます。

本計画は「福津市公共施設等総合管理計画」に基づき、施設類型ごとの方針を示すものです。



(2) 対象となる施設

対象は「福津市公共施設等総合管理計画」（以下、「総合管理計画」という）に記載の建築系公共施設のうち「学校」、「市営住宅」を除いた施設を対象とします。なお、同計画策定以降に建築され、2022（令和4）年3月までに竣工したのも対象に含みます。
※郷づくり交流センター及びコミュニティセンターの個別施設計画として2018（平成30）年5月に策定した「福津市公共施設等総合管理計画個別施設計画（郷づくり交流センター・コミュニティセンター）」は廃止し、本計画に一本化することとします。

(3) 計画期間

計画期間は2022（令和4）年度から2026（令和8）年度までの5年間とします。ただし、社会情勢等により変更が生じた場合は、適宜見直しを行うこととします。

第2章 更新費用の見込み

(1) 施設一覧

(1) 福祉施設

施設番号	施設名	物件名	竣工年度	構造	地上／地下階	延床面積(m ²)
41	大和保育所	保育所	1976	鉄骨造	1/0	609
		保育所	1999	鉄骨造	1/0	67
		渡廊下	2014	鉄骨造	1/0	9
		保育室	2013	軽量鉄骨造	1/0	107
42	神興小学校学童保育所	学童保育所	1979	鉄筋コンクリート造	1/0	231
136	上西郷小学校学童保育所	学童保育所	1993	鉄骨造	2/0	188
44	福間小学校学童保育所	学童保育所(第1)	1999	鉄骨造	1/0	133
		学童保育所(第2)	2002	鉄骨造	1/0	121
		学童保育所(第3・第4)	2017	軽量鉄骨造	2/0	246
45	福間南小学校学童保育所	学童保育所(第1)	1999	鉄骨造	1/0	133
		学童保育所(第2・第3)	2014	鉄骨造	2/0	278
		学童保育所(第4・第5)	2019	鉄骨造	2/0	296
46	神興東小学校学童保育所	学童保育所(第1)	2003	鉄骨造	1/0	133
		学童保育所(第2)	2010	軽量鉄骨造	1/0	121
137	津屋崎小学校学童保育所	学童保育所(第1)	2004	木造(簡易防火)	1/0	229
		渡り廊下	2004	鉄筋コンクリート造	1/0	21
		学童保育所(第2)	2011	鉄骨造	1/0	122
		学童保育所(第3・第4)	2018	鉄骨造	1/0	251
138	健康福祉総合センター (こども課所管分)	いきいき交流館	1999	鉄骨造	1/0	1,365
		いきいき交流館渡廊下	1999	鉄骨造	—	42
		車庫2	1999	鉄骨造	1/0	127
		便所	1999	鉄筋コンクリート造	1/0	25
		児童センター	2012	鉄骨造	2/0	875
		車椅子用駐車場・渡廊下屋根	2013	アルミ等型材	—	49
49	健康福祉総合センター (いきいき健康課所管分)	健康福祉館	1999	鉄骨鉄筋コンクリート造	3/1	6,362
		車庫1	1999	鉄骨造	1/0	257
		器具庫	1999	鉄筋コンクリート造	1/0	25

		あずまや	1999	鉄骨造	—	18
		サイクルポート	1999	アルミ等型材	—	10
		車椅子用駐車場・渡廊下屋根	1999	アルミ等型材	—	79
50	福祉会館（潮湯の里夕陽館）	福祉会館（潮湯の里夕陽館）	2000	鉄筋コンクリート造	2/1	1,801
				31	棟	14,330

(2) 社会教育施設

施設番号	施設名	物件名	竣工年度	構造	地上／地下階	延床面積(m ²)
51	中央公民館	公民館	1988	鉄筋コンクリート造	2/0	4,106
		ポンプ室	1988	鉄筋コンクリート造	1/0	20
		プロパン庫	1988	鉄筋コンクリート造	1/0	5
		浄化槽機械室	1988	鉄筋コンクリート造	1/0	22
		自転車置場	1988	鉄筋コンクリート造	—	40
		陶芸室	1988	木造	1/0	249
52	野外活動広場	管理事務所	1985	木造	1/0	25
		倉庫	1985	木造	1/0	16
		便所（棟）	1985	木造	1/0	54
		身障者用便所	1988	木造	1/0	5
		バンガロー	1996	木造	1/0	9
		バンガロー	1996	木造	1/0	9
		バンガロー	1998	木造	1/0	9
		バンガロー	1999	木造	1/0	9
		バンガロー	2000	木造	1/0	9
54	津屋崎公民館	公民館	1973	鉄筋コンクリート造	2/0	820
		倉庫	1973	木造	1/0	12
56	宮司公民館	公民館	1968	鉄筋コンクリート造	2/0	491
		公民館	1986	鉄骨造	1/0	414
57	福間体育センター	体育館	1982	鉄筋コンクリート造	2/0	1,202
58	津屋崎体育センター	体育館	1982	鉄筋コンクリート造	1/0	943
60	福間武道館	武道館	1971	鉄骨造	2/0	450
—	津屋崎武道館	武道館	2015	鉄骨造	1/0	659
122	図書館	図書館	1991	鉄筋コンクリート造	3/0	2,761
		車椅子用駐車場・渡廊下屋根	2010	アルミ等型材	—	75
—	勝浦浜海洋スポーツセンター	管理事務所	2015	木造	1/0	217
				26	棟	12,631

(3) 庁舎

施設番号	施設名	物件名	竣工年度	構造	地上／地下階	延床面積(m ²)
3	福津市役所	庁舎(本館)	1981	鉄筋コンクリート造	3/1	6,156
		エレベーター棟(本館)	1993	鉄骨造	3/0	27
		職員通用口スロープ	2012	アルミ等型材	—	25
		車庫	1981	鉄骨造	1/0	214
		機械室(棟)	1981	鉄筋コンクリート造	1/0	22
		庁舎(別館)	2016	鉄骨造	2/1	2,963
		渡廊下	2016	鉄骨造	1/0	27
		車椅子用駐車場・渡廊下屋根	2009	アルミ等型材	—	70
			8	棟	9,504	

(4) 文化教養施設

施設番号	施設名	物件名	竣工年度	構造	地上／地下階	延床面積(m ²)
121	複合文化センター(文化会館)	文化会館	1993	鉄筋コンクリート造	3/1	5,148
		倉庫	1993	鉄骨造	1/0	30
		車庫	1993	鉄骨造	1/0	76
		自転車置場	1993	鉄骨造	1/0	35
		機械室	1993	鉄筋コンクリート造	1/0	10
		車椅子用駐車場・渡廊下屋根	2013	アルミ等型材	—	35
4	複合文化センター(図書・歴史資料館)	図書・歴史資料館	1987	鉄骨造	3/0	3,880
		倉庫	1987	鉄骨造	1/0	246
		車庫	1987	鉄骨造	1/0	229
		車椅子用駐車場・渡廊下屋根	2013	アルミ等型材	—	34
		図書・歴史資料館増築分	2017	鉄骨造	3/0	385
		バス停(道路側)	2017	鉄骨造	—	4
		バス停(図書・歴史資料館前)	2017	鉄骨造	—	4
			13	棟	10,116	

(5) 農業施設

施設番号	施設名	物件名	竣工年度	構造	地上／地下階	延床面積(m ²)
70	井尻・板見坂共同農機具保管庫	農機具保管庫	1983	鉄骨造	1/0	293
71	ミノブチ共同農機具保管庫	農機具保管庫	1984	鉄骨造	1/0	223
72	上西郷堆肥センター	堆肥舎	1986	鉄骨造	1/0	641
		格納庫・管理室	1986	鉄骨造	1/0	99
73	ミノブチ共同集出荷所	共同集出荷所	1980	鉄骨造	1/0	461
74	昭和町共同作業所	共同作業所	1985	鉄骨造	1/0	381
75	井尻・板見坂共同作業所	共同作業所	1982	鉄骨造	1/0	243
76	ミノブチ共同作業所	共同作業所	1982	鉄骨造	1/0	199
77	農産物直販施設	直販所	1999	鉄骨造	1/0	526
		会議室棟	2010	木造	1/0	32
		トイレ棟	2010	木造	1/0	46
		車椅子用駐車場・渡廊下屋根	2013	アルミ等型材	—	65
78	あんずの里食堂	あんずの里食堂	2004	木造	1/0	125
79	農林漁業体験実習館	実習館	1995	鉄筋コンクリート造	1/0	638
		産直施設	1995	鉄骨造	1/0	428
		ブローアーム	1995	コンクリートブロック造	1/0	4
		陶芸窯室	1995	コンクリートブロック造	1/0	24
		公衆便所	2001	コンクリートブロック造	1/0	39
		車椅子用駐車場・渡廊下屋根	2013	アルミ等型材	—	65
		産地形成促進施設	2018	鉄骨造	1/0	260
83	昭和町農機具保管庫	農機具保管庫	2004	鉄骨造	1/0	499
				21	棟	5,291

(6) 集会施設

施設番号	施設名	物件名	竣工年度	構造	地上／地下階	延床面積(m ²)
31	福間会館	集会所	1985	鉄骨造	1/0	476
33	小竹集会所	集会所	1979	木造(簡易防火)	1/0	258
34	昭和集会所	集会所	1981	鉄筋コンクリート造	1/0	396
		管理人住宅	1990	木造(簡易防火)	1/0	46
		倉庫	1990	木造(簡易防火)	1/0	33
35	板見坂集会所	集会所	1983	木造(簡易防火)	1/0	220

36	ミノブチ集会所	集会所	1983	木造（簡易防火）	1/0	176	
37	井尻集会所	集会所	1984	木造（簡易防火）	1/0	177	
61	宮司コミュニティセンター	コミュニティセンター	2003	鉄筋コンクリート造	1/0	1,309	
		陶芸窯	2003	鉄筋コンクリート造	1/0	27	
		プロパン庫	2003	鉄筋コンクリート造	1/0	7	
506	福間南郷づくり交流センター	集会所、会議室	2014	木造	1/0	299	
63	福間郷づくり交流センター	集会所、会議室	2011	木造（簡易防火）	1/0	119	
125	上西郷郷づくり交流センター	集会所、会議室	1975	鉄骨造	1/0	397	
—	神興東郷づくり交流センター	集会所、会議室	2018	木造	1/0	202	
—	勝浦郷づくり交流センター	集会所、会議室	2019	木造	1/0	260	
					16	棟	4,402

(7) その他の公共用財産

施設番号	施設名	物件名	竣工年度	構造	地上／地下階	延床面積 (㎡)
30	板見坂納骨堂	納骨堂	1983	鉄筋コンクリート造	1/0	100
38	納骨堂	納骨堂	1961	鉄筋コンクリート造	1/0	364
106	東福間駅舎附帯施設	自由通路	1978	鉄骨造	1/0	282
		エレベーター	2002	鉄骨造	2/0	36
		便所	2002	鉄筋コンクリート造	1/0	14
		便所目隠し壁	2002	鉄筋コンクリート造	—	2
107	福間駅舎附帯施設	西口階段	2008	鉄骨造	2/0	77
		西口エレベーター	2008	鉄骨造	2/0	12
		西口エスカレーター	2010	鉄骨造	2/0	73
		西口トイレ	2010	鉄骨造	1/0	43
		自由通路	2010	鉄骨造	1/0	505
		東口階段	2010	鉄骨造	2/0	78
		東口エレベーター	2010	鉄骨造	2/0	15
		東口エスカレーター	2010	鉄骨造	2/0	80
		東口トイレ	2010	鉄骨造	1/0	49
		みやじ口2号駐輪場	2010	鉄骨造	2/0	880
		さいごう口3号駐輪場	2012	鉄骨造	1/0	409

		さいごう口4号駐輪場	2016	鉄骨造	1/0	1,335
123	教育支援センター	教育支援センター1	1985	木造	1/0	76
		教育支援センター2	1997	鉄骨造	1/0	99
800	西鉄バスシェルター（東福間駅前）	バスシェルター（駅舎側）	1981	鉄骨造	—	18
		バスシェルター（東福間側）	1981	鉄骨増	—	18
801	西鉄バスシェルター（福間庁舎前）	バスシェルター（庁舎側）	2013	鉄骨造	—	15
		バスシェルター（反対側）	2010	鉄骨造	—	15
62	第2企業センター	事務所	1999	軽量鉄骨造	2/0	166
				25	棟	4,761

(8) 水産業施設

施設番号	施設名	物件名	竣工年度	構造	地上／地下階	延床面積(m ²)
80	津屋崎ヨットハーバー	管理棟	2004	鉄筋コンクリート造	2/0	328
81	福間漁港	管理棟	1999	鉄骨造	2/0	134
		保管庫	1999	鉄骨造	1/0	90
		便所	1999	コンクリートブロック造	1/0	16
82	魚センター	直販施設	2004	鉄骨造	2/0	556
		朝市アーケード	2004	鉄骨造	—	974
		ポンプ室	2004	鉄筋コンクリート造	1/0	13
		デッキ	2004	鉄骨造	—	84
		直販施設(増築部分)	2019	鉄骨造	1/0	58
		倉庫	2018	鉄骨造	1/0	10
—	魚加工場	加工場	2019	鉄骨造	1/0	135
		プレハブ冷凍庫	2020	鉄骨造	1/0	7
				12	棟	2,405

(9) 消防施設

施設番号	施設名	物件名	竣工年度	構造	地上／地下階	延床面積(m ²)
10	第1分団格納庫	消防詰所兼格納庫	2012	鉄骨造	2/0	132
—	第2分団格納庫	消防詰所兼格納庫	2016	鉄骨造	2/0	144
12	第3分団格納庫	消防詰所兼格納庫	1992	鉄骨造	2/0	72

13	第4分団格納庫	消防詰所兼格納庫	1997	鉄骨造	1/0	53
14	第5分団格納庫（旧10分団）	消防詰所兼格納庫	1989	鉄骨造	2/0	64
15	第6分団格納庫	消防詰所兼格納庫	1985	鉄骨造	1/0	71
16	第6分団格納庫（旧7分団）	消防詰所兼格納庫	1992	鉄骨造	1/0	72
17	第7分団格納庫（旧8分団）	消防詰所兼格納庫	1988	鉄骨造	1/0	95
19	第7分団格納庫（旧9分団）	消防詰所兼格納庫	1989	鉄骨造	1/0	71
20	第8分団格納庫（旧11分団）	消防詰所兼格納庫	1978	鉄骨造	1/0	78
21	第8分団格納庫（旧13分団）	消防詰所兼格納庫	1984	鉄骨造	1/0	62
22	第9分団格納庫（旧12分団）	消防詰所兼格納庫	1993	鉄骨造	1/0	72
23	第9分団格納庫（旧14分団）	消防詰所兼格納庫	1976	木造（簡易防火）	1/0	60
24	第10分団格納庫（旧16分団）	消防詰所兼格納庫	1979	鉄骨造	1/0	82
25	第10分団格納庫（旧17分団）	消防詰所兼格納庫	1971	木造（簡易防火）	1/0	51
26	第11分団格納庫（旧15分団）	消防詰所兼格納庫	1977	鉄骨造	1/0	65
27	第11分団格納庫（旧18分団）	消防詰所兼格納庫	1989	木造（簡易防火）	1/0	85
28	水防資材倉庫	倉庫	1960	軽量鉄骨造	1/0	22
29	消防会館（旧）	倉庫	1956	コンクリートブロック造	2/0	121
				19	棟	1,472

(10) 観光施設

施設番号	施設名	物件名	竣工年度	構造	地上／地下階	延床面積(m ²)
86	津屋崎千軒古民家	家屋	1926	木造	2/0	114
87	まちおこしセンター	まちおこしセンター	2008	木造	1/0	487
88	津屋崎千軒民俗館「藍の家」	民俗館	1901	木造	2/0	251
89	公衆便所（波折神社）	便所	1997	木造	1/0	9
90	公衆便所（新浜山）	便所	1990	コンクリートブロック造	1/0	38
91	公衆便所（宮地獄神社）	便所	1991	木造	1/0	21
92	公衆便所（海岸通り）	便所	1992	鉄筋コンクリート造	1/0	18

93	公衆便所（宮地浜）	便所	1994	鉄筋コンクリート造	1/0	22	
94	公衆便所（津屋崎漁港）	便所	1999	鉄筋コンクリート造	1/0	73	
95	公衆便所（金刀比羅神社）	便所	2004	木造	1/0	15	
96	行政観光情報ステーション（福間駅）	行政観光情報ステーション	2010	鉄骨造	1/0	110	
					11	棟	1,158

(11) 幼稚園

施設番号	施設名	物件名	竣工年度	構造	地上／地下階	延床面積（㎡）	
124	神興幼稚園	校舎・幼稚園舎	1971	木造	1/0	409	
		校舎・幼稚園舎	1978	鉄骨造	1/0	180	
		倉庫	1986	鉄骨造	1/0	48	
					3	棟	637

(12) 文化財等施設

施設番号	施設名	物件名	竣工年度	構造	地上／地下階	延床面積（㎡）	
116	福津市文化財事務所	事務所	1995	軽量鉄骨造	1/0	182	
118	本木文化財倉庫	倉庫	1998	鉄骨造	1/0	331	
119	新屋敷倉庫	倉庫	1969	鉄骨造	2/0	372	
66	文化財倉庫	倉庫	1995	木造（簡易防火）	2/0	114	
—	新原・奴山古墳群展望所	四阿・詰所等	2018	鉄筋コンクリート造	1/0	32	
		便所棟	2018	鉄筋コンクリート造	1/0	37	
					6	棟	1,068

(13) 環境保全施設

施設番号	施設名	物件名	竣工年度	構造	地上／地下階	延床面積（㎡）
64	不燃物処理場	管理人棟	2020	軽量鉄骨造	1/0	12
		選別場	2020	軽量鉄骨造	1/0	55
65	資源倉庫	資源倉庫	1997	軽量鉄骨造	1/0	116
67	公設分別ステーション	分別ステーション（A棟）	2005	鉄骨造	1/0	92
		分別ステーション（B棟）	2010	鉄骨造	1/0	183
		分別ステーション（C棟）	2010	鉄骨造	1/0	92
		門扉	2010	アルミ等型材	—	0

68	大峰山キャンプ場倉庫	倉庫	1989	木造	1/0	40
502	古紙・古着倉庫	倉庫	2012	軽量鉄骨造	1/0	8
				9	棟	598

(14) 公園施設（建物）

施設番号	施設名	物件名	竣工年度	構造	地上／地下階	延床面積(m ²)
97	あんずの里運動公園	管理事務所	1988	木造	1/0	139
		便所	1988	コンクリートブロック造	1/0	42
		便所	1993	鉄筋コンクリート造	1/0	18
98	福津市総合運動公園	管理棟A	1992	鉄骨造	1/0	101
		管理棟B	1992	鉄骨造	1/0	142
		便所1	1992	鉄筋コンクリート造	1/0	50
		便所2	1992	鉄筋コンクリート造	1/0	50
		便所3	1992	鉄筋コンクリート造	1/0	30
		弓道場	1992	鉄骨造	1/0	259
		スタンド	1992	鉄筋コンクリート造	2/0	473
		スコアボード	1992	鉄骨造	1/0	59
		アーチェリーの場	1992	鉄骨造	1/0	23
		用具庫	1992	コンクリートブロック造	1/0	17
		東屋	1992	鉄筋コンクリート造	1/0	10
		四阿	1992	木造	1/0	17
		倉庫	1993	木造	1/0	109
倉庫2	2000	鉄骨造	1/0	112		
99	久末総合公園	管理棟	1995	鉄骨造	1/0	22
		更衣室	1995	コンクリートブロック造	1/0	33
		便所1	1994	鉄筋コンクリート造	1/0	17
		便所2	1995	鉄筋コンクリート造	1/0	3
		車庫	1997	軽量鉄骨造	1/0	32
100	本木川自然公園	管理棟	1997	鉄筋コンクリート造	1/0	84
		便所1	1997	鉄筋コンクリート造	1/0	17
		便所2	1997	鉄筋コンクリート造	1/0	17
		便所3	1997	鉄筋コンクリート造	1/0	17
		車庫	1999	木造	1/0	20
101	昭和第2公園	便所	1990	鉄筋コンクリート造	1/0	4
102	大和公園	便所	1999	軽量鉄骨造	1/0	9
103	昭和公園	便所	2010	鉄筋コンクリート造	1/0	11
104	清田ヶ浦広場	便所	1998	鉄筋コンクリート造	1/0	4
105	宮の元公園	研修所（管理棟・2号棟）	1990	木造	1/0	229

		研修所（1号棟）	1990	木造	1/0	115
		研修所（3号棟）	1990	木造	1/0	77
		便所（棟）	1990	木造	1/0	20
		機械室（棟）	1990	木造	1/0	3
		陶芸窯室	1995	コンクリートブロック造	1/0	20
120	日蒔野1号公園	トイレ	2010	鉄筋コンクリート造	1/0	15
503	日蒔野12号公園	トイレ	2013	鉄筋コンクリート造	1/0	14
504	竹尾緑地	トイレ	2012	鉄筋コンクリート造	1/0	17
505	集いの駅	トイレ	2013	鉄筋コンクリート造	1/0	21
				41	棟	2,472

(2) 試算の前提

本計画の対象施設のうち、延床面積 100 m²以上の建築物を対象として更新費用を算定します。ただし、消防団格納庫、集会所、管理棟、会議室棟や本館等に付随する建物などについては、100 m²未満の建物であっても対象とします。期間は総合管理計画の計画期間の終わりに合わせて 2022（令和 4）年度から 2046（令和 28）年度までの 25 年間とし、以下の算定条件により算出します。

ただし、施設の劣化状況や財政状況、今後施設のあり方を検討する中での施設の方向性の変更等により試算のとおり改修が行われなくてもあります。

		長寿命化モデル
耐用年数	RC造・S造 (軽量鉄骨造・木造)	70年 (50年)
計上する費用	修繕更新費	・LCC刊行物を参考に設定する4つの算定モデルに基づき算定する。
	建替費・撤去費	・耐用年数に応じて建替費及び撤去費を計上する。 ・各単価は4つの算定モデルごとに設定する。
	その他	・福津市建物長寿命化のための維持管理方針等の考え方に準拠する。

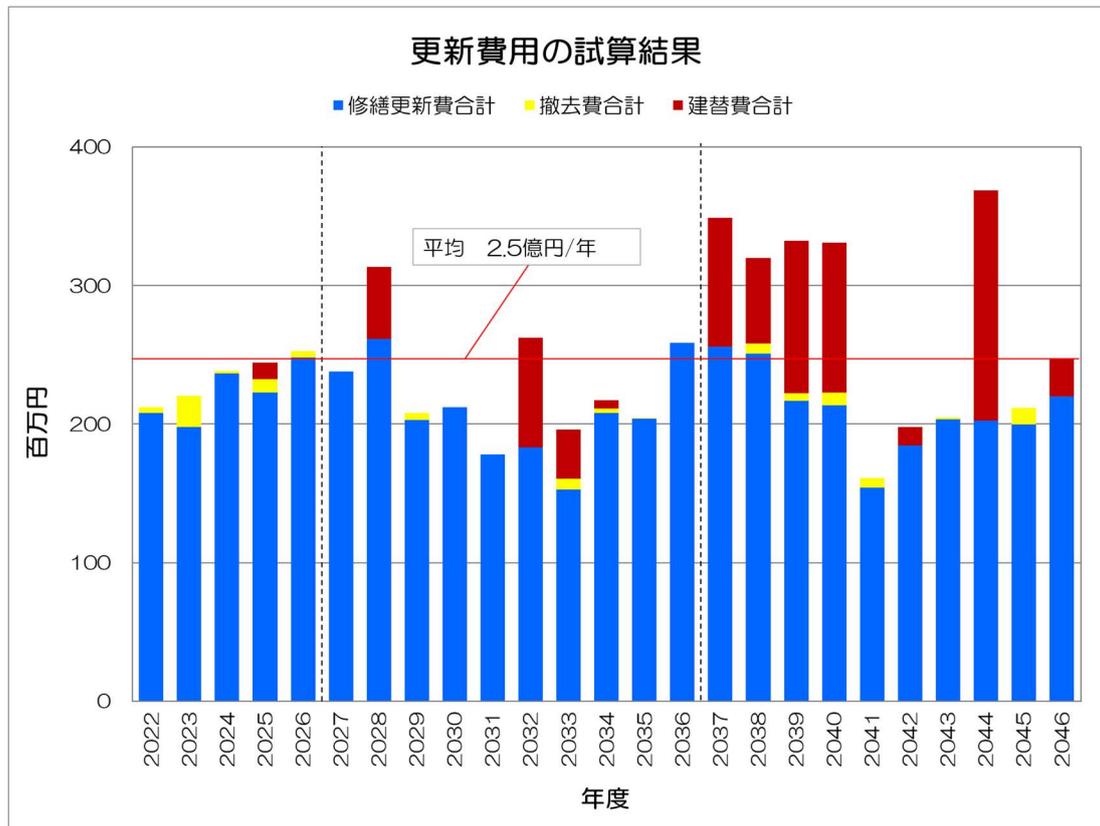
※民営化等の予定がある施設については、その予定年度までの費用を計上しています。

対象施設の用途	算定モデル		修繕更新費	建替費単価 (千円/m ²)		撤去費単価 (千円/m ²)
				RC造	S造・ その他	
庁舎、事務所、福祉施設、公民館、コミュニティセンター、管理棟、文化会館、図書館など	①	庁舎等モデル	モデル用途及び経過年数に応じた修繕費・更新費の単価を設定（沿岸部については、屋根及び外部の費用を割り増しする。）	300	240	20
市営住宅、消防団格納庫、集会所など	②	住宅等モデル		250	200	20
保育所、幼稚園、学校施設、体育館など	③	学校等モデル		300	240	15
車庫、倉庫、納骨堂、作業所、駐輪場、通路、開放廊下など	④	その他モデル		150	120	10

※LCC（ライフサイクルコスト）・・・建設から維持、改修、解体に至る過程で必要な経費の合計額

(3) 試算結果

必要な更新費用は、25年間の合計で約62億円となる見込みです。年により、更新費用の変動が見られる結果となっています。



第3章 個別施設の現状と方針

上位計画である総合管理計画では、公共施設等の現状と課題及び目標値について以下のとおり記載しています。

「福津市公共施設等総合管理計画」第4章 公共施設等の管理に関する基本方針

(4.1 公共施設等における現状と課題)

(1) 施設の老朽化

建築系公共施設の約50%が築30年を経過しており、施設の老朽化が進んでいます。築10年以上となると9割以上となり、今後、施設の安全性や品質を保つために大規模な改修や更新が必要となります。

(2) 更新費用の増加

現在本市が保有する公共施設等の今後60年間の更新費用の見込みは年平均で約20.4億円であるのに対し、直近では約17.2億円であるので、現状の1.2倍程度の支出が必要となる試算結果となります。

(3) 更新時期の集中

「福津市建物長寿命化計画」において、建物の供用限界（寿命）を延ばし、建物を使用していくため、予防保全的な修繕、更新に力を入れていくこととしています。長寿命化モデル（70年建替）においては、従来モデル（50年建替）より建物の供用限界（寿命）を概ね20年程度延ばしたことにより、従来モデルより当面の建替費は少なくなりますが、この場合でも30年目以降に建替ピークがやってきます。

(4.5 目標値の設定)

公共施設等の更新費用について、計画期間に20%の削減をめざします。

公共施設等の将来更新費用の算定結果では、今後60年間の更新費用の総額は1,222億円で、試算期間における平均費用は年間約20.4億円となります。

これに対して、直近5年間の公共施設等にかけてきた投資的経費は、年平均約17.2億円であるので、現状の約1.2倍の支出が必要となる試算結果となり、（中略）取組みを実施し、公共施設等にかかる更新、改修などにかかる費用を20%圧縮することを目標とします。

今後の公共施設の改修・修繕は、総合管理計画における上記の記載を踏まえながら、各設備等の耐用年数及び改修・修繕履歴に基づき実施時期を検討することになります。しかし、改修・修繕の財源に限りがあることから、特定の時期に改修・修繕が集中しないよう、福津市内の公共施設全体の中で実施年度の調整が必要となります。

実施年度の判断基準として、次のとおり優先順位を設定します。実施にあたっては、別途、目標使用年数や施設の特性、利用実態なども踏まえて検討します。

優先順位 1 安全性

劣化により公共施設の利用に危険が伴うもの

優先順位 2 事後保全

劣化の進行を早めたり、施設の利用に影響を及ぼす不具合が生じているもの

優先順位 3 予防保全

改修の時期が到来したもの

《次ページ以降の記載内容について》

■避難所指定の表記

施設一覧表の「避難所」欄には、「福津市地域防災計画（2017（平成29）年3月改訂）」で避難所の指定を受けている施設に対して下記のとおり表記しています。

指定避難所等 ： 指定

福祉避難所 ： 福祉

広域避難場所 ： 広域

■第3次福津市行財政改革大綱との関連

2021（令和3）年12月に第3次福津市行財政改革大綱（計画期間：2021（令和3）年度～2025（令和7）年度）が策定されており、この実施計画の中で一部の公共施設についての取り組みが掲げられています。

本計画の対象施設で第3次福津市行財政改革大綱における取り組みが記載されているものについては、「（4）進捗状況および計画」にその内容を反映させています。

1.福祉施設

(1) 施設の状況

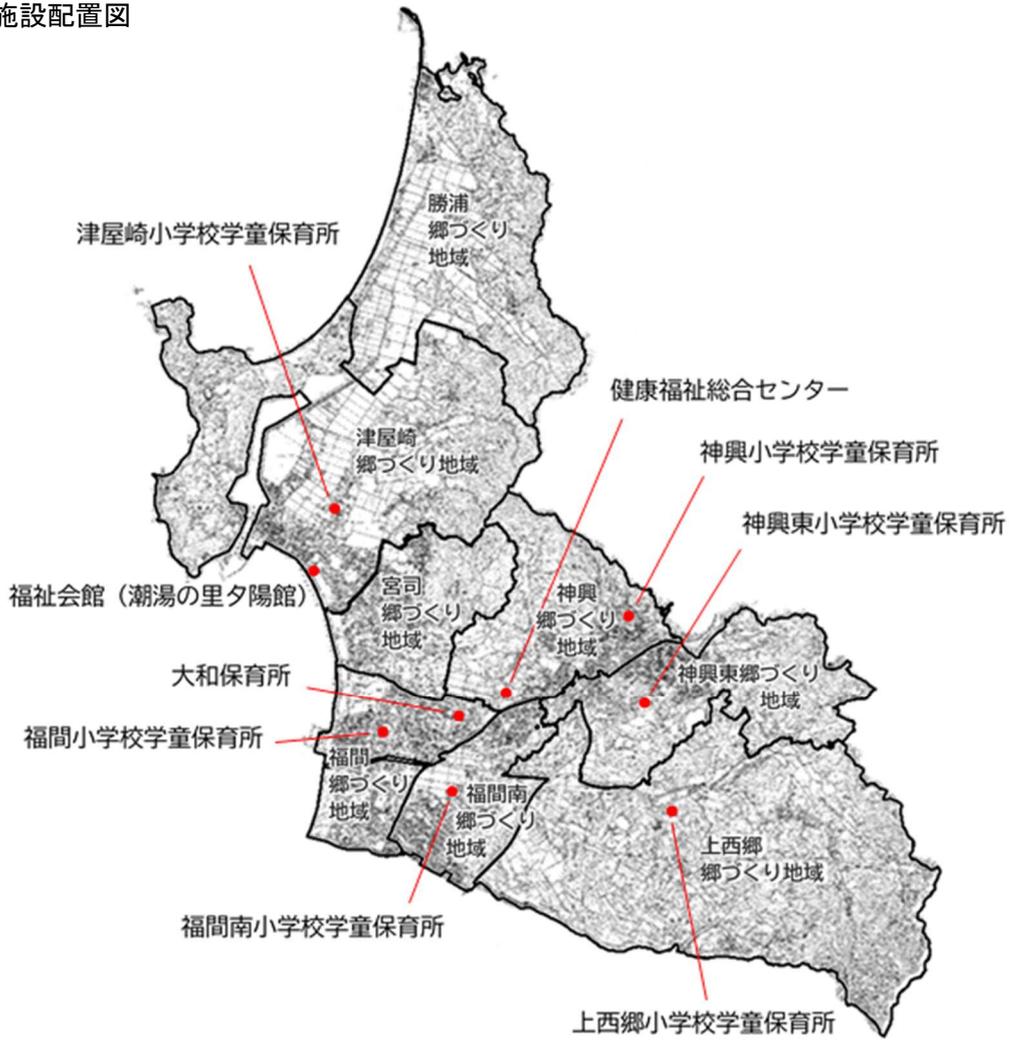
①施設一覧表

施設名	物件名	竣工年度	築年数 (2021年現在)	構造	延床面積 (㎡)	耐震性能	避難所
大和保育所	保育所	1976	45	鉄骨造	609	あり	—
	保育所	1999	22	鉄骨造	67	あり	
	渡廊下	2014	7	鉄骨造	9	あり	
	保育室	2013	8	軽量鉄骨造	107	あり	
神興小学校学童保育所	学童保育所	1979	42	鉄筋コンクリート造	231	あり	—
上西郷小学校学童保育所	学童保育所	1993	28	鉄骨造	188	あり	—
福間小学校学童保育所	学童保育所 (第1)	1999	22	鉄骨造	133	あり	—
	学童保育所 (第2)	2002	19	鉄骨造	121	あり	
	学童保育所 (第3・第4)	2017	4	軽量鉄骨造	246	あり	
福間南小学校学童保育所	学童保育所 (第1)	1999	22	鉄骨造	133	あり	—
	学童保育所 (第2・第3)	2014	7	鉄骨造	278	あり	
	学童保育所 (第4・第5)	2019	2	鉄骨造	296	あり	
神興東小学校学童保育所	学童保育所 (第1)	2003	18	鉄骨造	133	あり	—
	学童保育所 (第2)	2010	11	軽量鉄骨造	121	あり	
津屋崎小学校学童保育所	学童保育所 (第1)	2004	17	木造(簡易防火)	229	あり	—
	渡り廊下	2004	17	鉄筋コンクリート造	21	あり	
	学童保育所 (第2)	2011	10	鉄骨造	122	あり	

施設名	物件名	竣工 年度	築年数 (2021 年現在)	構造	延床 面積 (㎡)	耐震 性能	避難所
	学童保育所 (第3・第4)	2018	3	鉄骨造	251	あり	
健康福祉総合センター (こども課所管分)	いきいき交流館	1999	22	鉄骨造	1,365	あり	指定・ 福祉
	いきいき交流館 渡廊下	1999	22	鉄骨造	42	あり	
	車庫2	1999	22	鉄骨造	127	あり	
	便所	1999	22	鉄筋コン クリート造	25	あり	
	児童センター	2012	9	鉄骨造	875	あり	
	車椅子用駐車場・ 渡廊下屋根	2013	8	アルミ等 型材	49	あり	
健康福祉総合センター (いきいき健康課所管分)	健康福祉館	1999	22	鉄骨鉄筋 コンクリート造	6,362	あり	指定・ 福祉
	車庫1	1999	22	鉄骨造	257	あり	
	器具庫	1999	22	鉄筋コン クリート造	25	あり	
	あずまや	1999	22	鉄骨造	18	あり	
	サイクルポート	1999	22	アルミ等 型材	10	あり	
	車椅子用駐車場・ 渡廊下屋根	1999	22	アルミ等 型材	79	あり	
福祉会館(潮湯の里夕陽 館)	福祉会館(潮湯の 里夕陽館)	2000	21	鉄筋コン クリート造	1,801	あり	指定

※勝浦小学校学童保育所は勝浦郷づくり交流センター内に併設されています。

②施設配置図

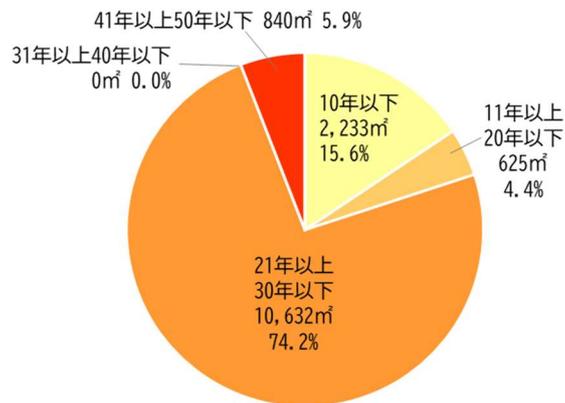


③老朽化の状況

【経過年数】

建築後経過年数をみると、21年以上30年以下が10,632㎡(74.2%)で最も多く、健康福祉総合センターが大きな割合を占めています。

建築後経過年数の状況



【建物調査】

対象施設のうち「大和保育所」「神興小学校学童保育所」「上西郷小学校学童保育所」「福間小学校学童保育所」「福間南小学校学童保育所」「神興東小学校学童保育所」「津屋崎小学校学童保育所」「健康福祉総合センター」については、2016（平成28）年に建物の調査を実施しています。調査の際に確認された劣化は以下のとおりです。

※調査時と現状で異なることがあります。





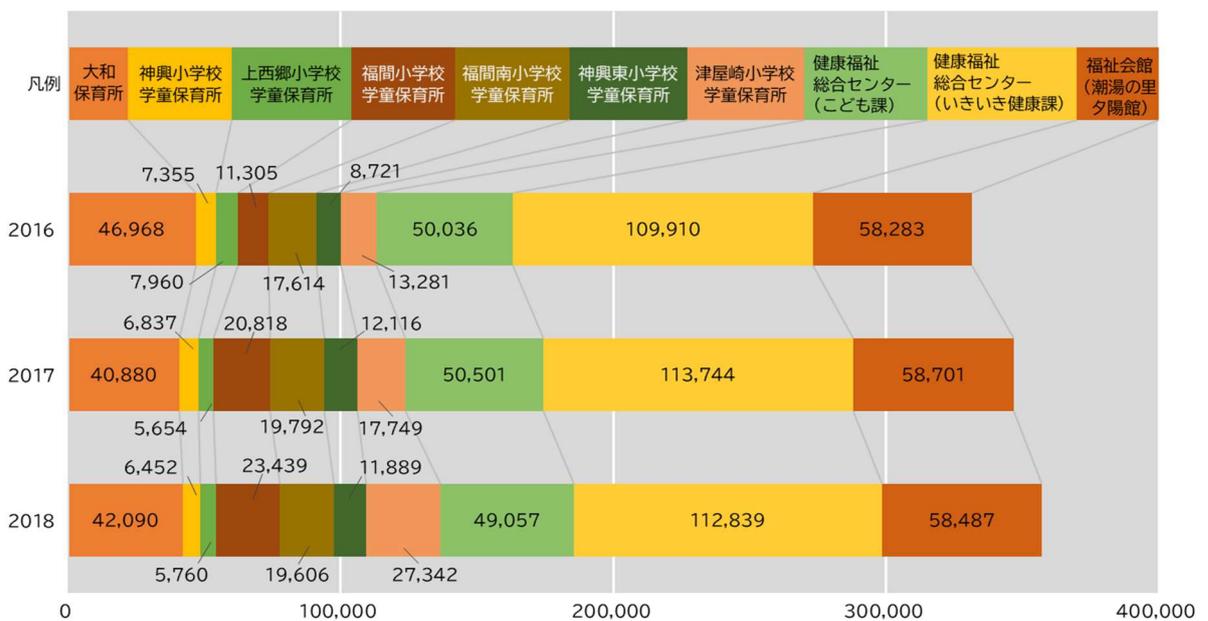
2016（平成28）年の調査の対象ではなかった「福社会館（潮湯の里夕陽館）」については、2020（令和2）年に目視による現況確認を行いました。確認された劣化は以下のとおりです。



④管理運営に要する経費

近年の社会的ニーズの高まりや児童数の増加に伴い、福間・福間南・津屋崎の学童保育所は新たに建築を行っています。その影響により、経費も増加傾向にあります。

（単位：千円）



※施設の維持管理や行政サービスに要する費用のほか、固定資産台帳上の減価償却費（工事・備品等）を計上し、職員人件費は経費に含めていません。

（２）施設の役割

【大和保育所】

児童福祉法及び子ども・子育て支援法の規定に基づき、保護者の労働又は疾病その他の事由により、保育が必要な児童に対し保育を実施する施設です。

【各学童保育所（神興小学校学童保育所、上西郷小学校学童保育所、福間小学校学童保育所、福間南小学校学童保育所、神興東小学校学童保育所、津屋崎小学校学童保育所）】

児童福祉法の規定に基づき、放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）を実施するための施設です。

【健康福祉総合センター（いきいき交流館・児童センター）】

児童福祉法の規定に基づく児童厚生施設として、児童に健全な遊びを与え、健康を増進し情操を豊かにするための施設です。

【健康福祉総合センター（健康福祉館）】

健康づくりに関する保健事業の中心的な場として、各種健（検）診、健康相談や健康教育などを行います。2階の社会福祉協議会ではボランティア活動の支援、また、3階の健康増進室では健康づくり教室やトレーニング指導を実施しています。

【福社会館（潮湯の里夕陽館）】

市民の健康保持及び福祉サービスの施設として、地下から汲み上げた海水を温めた温浴施設を有しています。今後は、地域活性化に資するよう他の施設と一体的に活用していきます。

（３）現状と課題

【大和保育所】

築40年以上が経過し、壁や天井、床の老朽化が著しく、特に壁モルタルは、下地からの大規模改修を計画的に実施する必要があります。

【神興小学校学童保育所】

築40年以上が経過し、特に屋根・外壁・床など改修の検討が必要です。バリアフリーに対応していません。

【上西郷小学校学童保育所】

築25年以上が経過し、各部に老朽化が認められます。土砂災害警戒区域にあるため、

大雨等の際は施設が使用できない状況です。

【福間小学校学童保育所】

第1及び第2学童保育所は、各部に経年劣化が認められます。

【福間南小学校学童保育所】

特に経年劣化等は認められません。

【神興東小学校学童保育所】

特に経年劣化等は認められません。

【津屋崎小学校学童保育所】

特に経年劣化等は認められません。

【健康福祉総合センター（いきいき交流館・児童センター）】

築20年以上が経過し、いきいき交流館の各部に経年劣化が認められます。特に外壁が老朽化し、改修の検討が必要です。

【健康福祉総合センター（健康福祉館）】

築20年以上が経過し、施設内外問わず老朽化が進み不具合が発生しています。また、空調機についても耐用年数を経過していることから故障が多だけでなくエネルギー消費効率も悪いため、維持管理費増大の要因となっています。

【福社会館（潮湯の里夕陽館）】

築20年以上が経過し老朽化が進み、また塩害による腐食等も発生しています。特に空調、給湯設備の不具合が発生しており、改修が必要です。

(4) 進捗状況および計画

- ・「大和保育所」は、民営化の検討を行いながら老朽化の状況を注視し、必要に応じて修繕等を行い維持していきます。
- ・各「学童保育所」は、特に必要性の高い小学校において整備を行いました。今後も安全に利用ができるよう、適切な維持管理を継続します。
- ・「健康福祉総合センター」は、築20年以上を経過し設備等の更新時期を迎えています。各部位の現状を踏まえながら、順次改修を行います。また、指定管理者制度導入に向けた検討を進めます。
- ・「福祉会館（潮湯の里夕陽館）」は、2022（令和4）年度以降の民営化を目指します。

アクションプラン（福祉施設）

事業年度 施設名	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026
大和保育所*	—	—	—	—	民営化
神興小学校学童保育所	—	—	—	—	—
上西郷小学校学童保育所	—	—	—	—	—
福間小学校学童保育所	—	—	—	—	—
福間南小学校学童保育所	—	—	—	—	—
神興東小学校学童保育所	—	—	—	—	—
津屋崎小学校学童保育所	—	—	—	—	—
健康福祉総合センター* (こども課所管分)	—	—	—	—	—
健康福祉総合センター* (いきいき健康課所管分)	空調修繕・改修 EV更新 給湯熱源システム更新 (健康福祉館)	空調修繕・改修 LED改修 内装(玄関)改修 内装(健康プラザ)設計 (健康福祉館)	空調修繕・改修 内装(健康プラザ)改修 外壁・防水設計 (健康福祉館)	空調修繕・改修 外壁・防水改修 (健康福祉館) 指定管理開始	空調改修 (健康福祉館)
福祉会館（潮湯の里夕陽館）*	以降の年度で民営化	—	—	—	—

※*…第3次福津市行財政改革大綱の対象施設

※EV…エレベーターの略

※計画の内容は、財政状況や災害等の状況の変化により変更する可能性があります。

2.社会教育施設

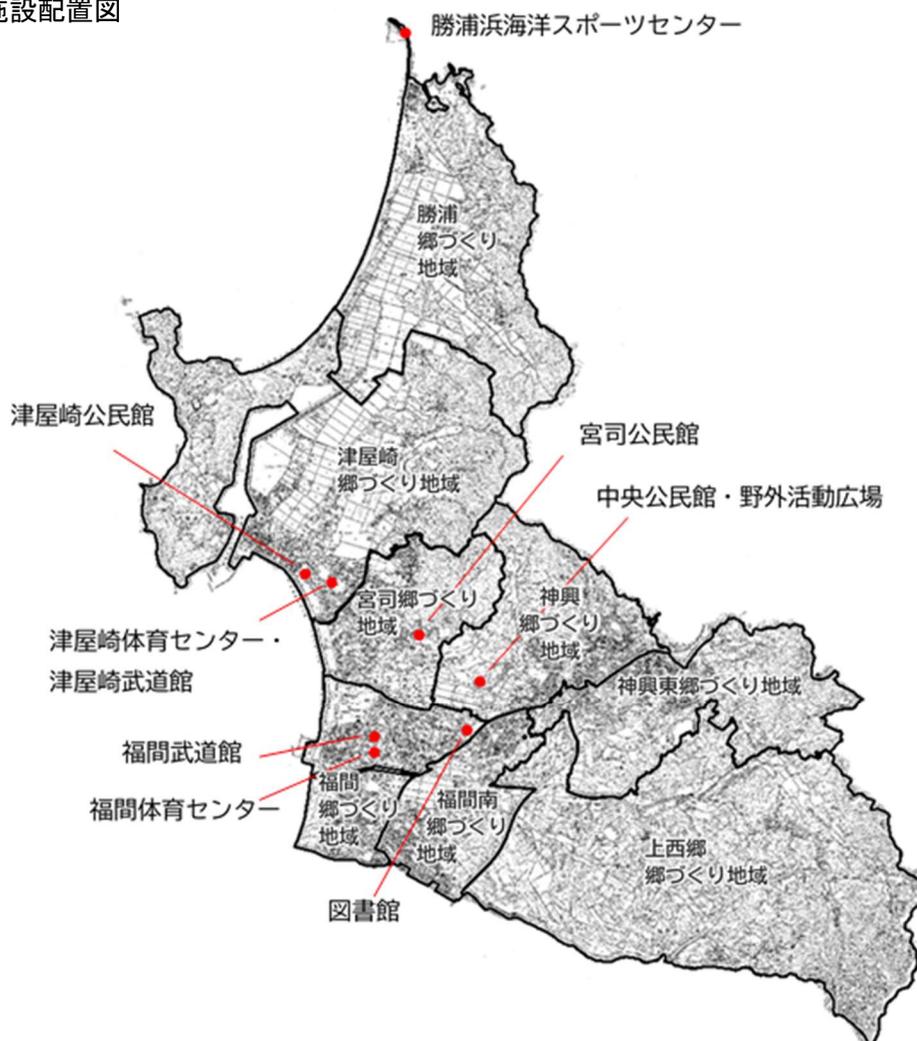
(1) 施設の状況

①施設一覧表

施設名	物件名	竣工年度	築年数 (2021年現在)	構造	延床面積 (㎡)	耐震性能	避難所
中央公民館	公民館	1988	33	鉄筋コンクリート造	4,106	あり	指定・福祉
	ポンプ室	1988	33	鉄筋コンクリート造	20	あり	
	プロパン庫	1988	33	鉄筋コンクリート造	5	あり	
	浄化槽機械室	1988	33	鉄筋コンクリート造	22	あり	
	自転車置場	1988	33	鉄筋コンクリート造	40	あり	
	陶芸室	1988	33	木造	249	あり	
野外活動広場	管理事務所	1985	36	木造	25	あり	—
	倉庫	1985	36	木造	16	あり	
	便所(棟)	1985	36	木造	54	あり	
	身障者用便所	1988	33	木造	5	あり	
	バンガロー	1996	25	木造	9	あり	
	バンガロー	1996	25	木造	9	あり	
	バンガロー	1998	23	木造	9	あり	
	バンガロー	1999	22	木造	9	あり	
津屋崎公民館	公民館	1973	48	鉄筋コンクリート造	820	不明	—
	倉庫	1973	48	木造	12	不明	
宮司公民館	公民館	1968	53	鉄筋コンクリート造	491	不明	—
	公民館	1986	35	鉄骨造	414	あり	
福間体育センター	体育館	1982	39	鉄筋コンクリート造	1,202	あり	指定
津屋崎体育センター	体育館	1982	39	鉄筋コンクリート造	943	あり	指定
福間武道館	武道館	1971	50	鉄骨造	450	不明	—
津屋崎武道館	武道館	2015	6	鉄骨造	659	あり	—
図書館	図書館	1991	30	鉄筋コンクリート造	2,761	あり	指定
	車椅子用駐車場・渡廊下屋根	2010	11	アルミ等型材	75	あり	
勝浦浜海洋スポーツセンター	管理事務所	2015	6	木造	217	あり	—

※勝浦公民館は2019(令和元)年度に解体し、勝浦郷づくり交流センターと勝浦小学校学童保育所の複合施設として整備しました。

②施設配置図

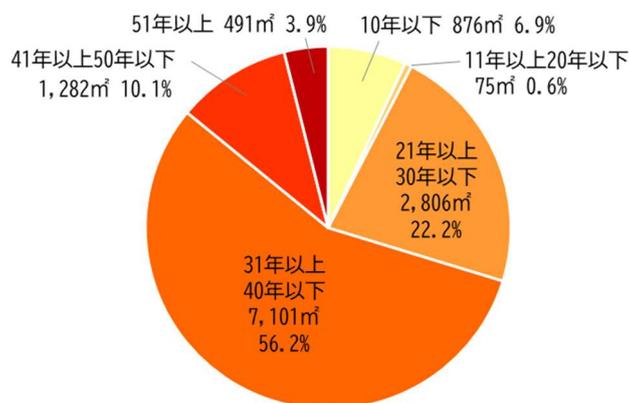


③老朽化の状況

【経過年数】

建築後経過年数をみると、31年以上40年以下のものが7,101㎡（56.2%）で最も多く、中央公民館が大きな割合を占めています。

建築後経過年数の状況



【建物調査】

対象施設のうち「中央公民館」「宮司公民館」「福間体育センター」「津屋崎体育センター」「福間武道館」「図書館」については、2016（平成 28）年に建物の調査を実施しています。

調査の際に確認された劣化は以下のとおりです。

※調査時と現状で異なることがあります。



中央公民館 楽屋和室2
天井の外れ



中央公民館 西面
露筋（コンクリート剥落）



中央公民館 誘導灯（蛍光灯）
経年による老朽化
カバーの変色



中央公民館 天井埋込スピー
カー
経年による老朽化（変色）



中央公民館 屋外ブラケッ
ト照明
経年による老朽化（変色・発
錆）



宮司公民館
ペンダント照明（蛍光灯）
経年による老朽化
カバーの変色



宮司公民館
防災無線用スピーカー
取付ポールの変色



宮司公民館
アネモスタット（空調吹出
口） 経年による著しい塗
装剥れ劣化



福間体育センター 屋根
石綿セメント板（コロニア
ル）
破損（アリーナ雨漏り有り）



福間体育センター
1階 男子更衣室前通路
天井埋込照明（蛍光灯）
経年による老朽化



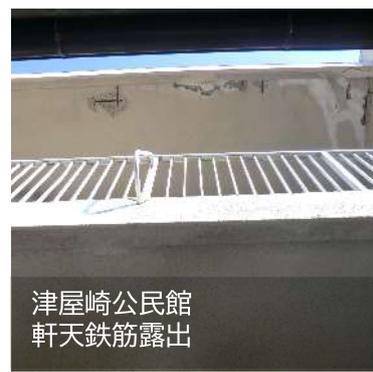
福間体育センター
1階 玄関ホール
誘導灯（蛍光灯）
経年によるカバーの変色



津屋崎体育センター
玄関上部屋根
立上（アゴ）コンクリート
脱落、防水端部の捲れ

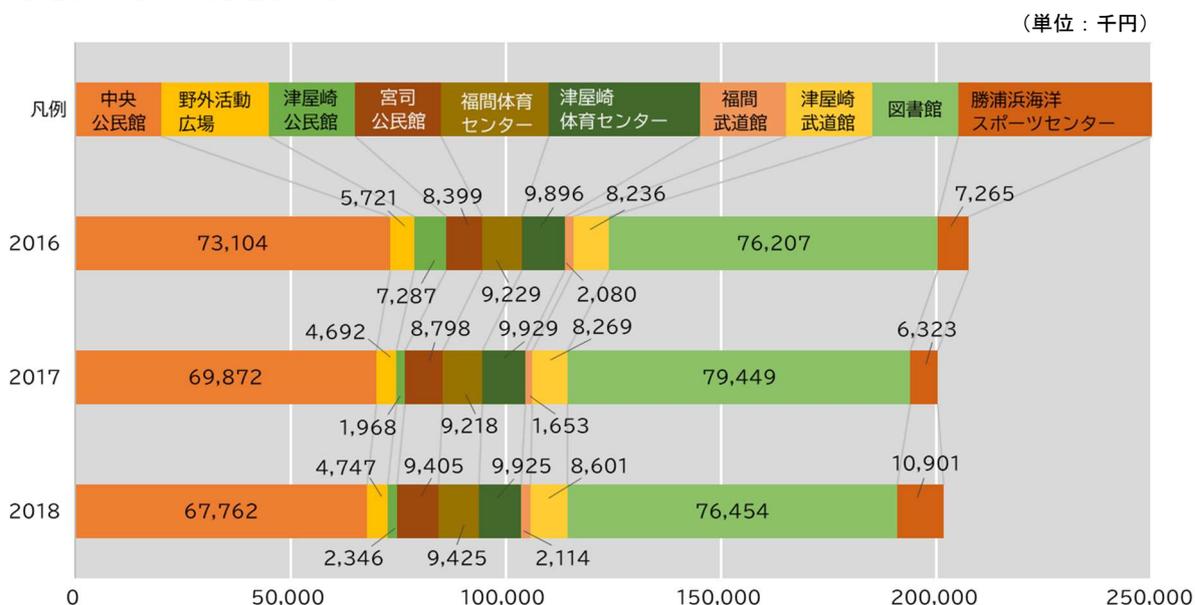


2016（平成 28）年の調査の対象ではなかった「野外活動広場」「津屋崎公民館」「津屋崎武道館」「勝浦浜海洋スポーツセンター」については、2020（令和 2）年に目視による現況確認を行いました。確認された主な劣化は以下のとおりです。



④管理運営に要する経費

社会教育施設全体を見ると、ほぼ横ばいとなっています。ただし、ほとんどの施設が築20年以上となっており設備等の更新時期を迎えていることから、維持する場合は改修にかかる経費の増加が見込まれます。



※施設の維持管理や行政サービスに要する費用のほか、固定資産台帳上の減価償却費（工事・備品等）を計上し、職員人件費は経費に含めていません。

(2) 施設の役割

【中央公民館】

地域活動及び生涯学習活動の拠点施設として、各種サークル等の団体が活動しています。ボランティアセンターを併設しています。

【野外活動広場】

小学校、幼稚園の遠足や市民の憩いの場として、利用されています。

【津屋崎公民館】

現在は利用を停止しています。

【宮司公民館】

地域活動及び生涯学習活動の拠点として、各種団体が活動しています。

【福間体育センター】

市内の屋内スポーツ施設として、いろいろなスポーツ団体に利用されています。アリーナ（バレーコート2面）のほか多目的室を併設しています。

【津屋崎体育センター】

市内の屋内スポーツ施設として、いろいろなスポーツ団体に利用されています。アリーナ（バレーコート2面）があります。

【福間武道館・津屋崎武道館】

市内の武道施設として、柔道・剣道・空手道などの団体が利用しています。

【図書館】

市民生活を支える「知の拠点」及び人づくりや地域活動を担う「交流拠点」として、本の貸出の他、各種講座・講演会・お話し会等を開催しています。

【勝浦浜海洋スポーツセンター】

宗像市との共同事業で海に親しめる施設として整備し、海洋スポーツの拠点施設として、小学生・青少年育成団体の体験事業を実施しています。

(3) 現状と課題

【中央公民館】

築33年が経過し、建物やホールの設備等に不具合が多くなっています。

【野外活動広場】

バンガローは空調設備がなく、デッキは雨ざらしのため、劣化が進行しています。便所は汲み取り式であり利用者は少ない状況です。全体の維持管理コストは高額となっています。

【津屋崎公民館】

築48年が経過し老朽化が著しく、既に用途廃止に向け利用を停止しています。

【宮司公民館】

築53年が経過し老朽化が著しく、今後の施設の方向性を検討する必要があります。また、特定の団体による利用が多い傾向です。

【福間体育センター】

築39年が経過し、雨漏りが発生していることから早急に屋根改修の検討が必要です。利用状況について、稼働率は高い状況で推移しています。

【津屋崎体育センター】

築39年が経過し老朽箇所が見受けられ、維持管理費が高額となっています。利用状況について、稼働率は高い状況で推移しています。

【福間武道館】

築50年が経過していますが、現時点では大規模な改修等が必要な箇所は見受けられません。また、特定の団体による利用が多い傾向です。

【津屋崎武道館】

2015（平成 27）年度に建築されており、現時点で改修箇所は見受けられません。津屋崎中学校の敷地内にあり、中学校の授業及び部活動で利用されており、社会体育団体の利用は限られています。

【図書館】

築 30 年が経過し建物や設備の経年劣化による不具合が目立ちます。快適性・安全性の面から大規模改修工事などの適切な維持管理が必要です。

【勝浦浜海洋スポーツセンター】

2015（平成 27）年度に海岸近くに建築されています。築 6 年が経過し塩害の被害が多く発生しており、今後設備修繕に費用が掛かることが予想されます。

（４）進捗状況および計画

- ・「中央公民館」は維持管理を行いながら施設の機能の検討を進め、ホールは 2024（令和 6）年度に複合文化センター（文化会館）のホールへ一本化します。
- ・「野外活動広場」のキャンプ場等は、2022（令和 4）年度に廃止します。
- ・「津屋崎公民館」は、老朽化が著しいため 2022（令和 4）年度に解体する予定です。
- ・「宮司公民館」は、廃止に向けた地元との協議を行います。
- ・「図書館」は、築 30 年が経過し各部位の経年劣化が進んでいる状況をふまえ、順次改修を実施します。
- ・その他の施設については、適宜修繕を実施します。
- ・社会教育施設については総合管理計画において「旧町間で差異があるものや、重複しているものについては、施設の集約化などを検討していく必要があります」としており、引き続き今後のあり方を検討します。

アクションプラン（社会教育施設）

事業年度 施設名	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026
中央公民館*	—	—	ホール廃止	—	—
野外活動広場*	設備撤去 キャンプ場 等廃止	—	—	—	—
津屋崎公民館	解体	—	—	—	—
宮司公民館*	—	廃止	—	—	—

事業年度 施設名	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026
福間体育センター	—	—	—	—	—
津屋崎体育センター	—	—	—	—	—
福間武道館	—	—	—	—	—
津屋崎武道館	—	—	—	—	—
図書館	LED 改修 EV 設計 EV 改修	放送設備更 新	—	—	—
勝浦浜海洋スポーツセンター	—	—	—	—	—

※*…第3次福津市行財政改革大綱の対象施設

※EV…エレベーターの略

※計画の内容は、財政状況や災害等の状況の変化により変更する可能性があります。

3.庁舎

(1) 施設の状況

①施設一覧表

施設名	物件名	竣工 年度	築年数 (2021 年現在)	構造	延床 面積 (㎡)	耐震 性能	避難所
福津市役所	庁舎（本館）	1981	40	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造	6,156	あり	—
	エレベーター棟 （本館）	1993	28	鉄骨造	27	あり	
	職員通用ロスロー プ	2012	9	アルミ等型材	25	あり	
	車庫	1981	40	鉄骨造	214	あり	
	機械室（棟）	1981	40	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造	22	あり	
	庁舎（別館）	2016	5	鉄骨造	2,963	あり	
	渡廊下	2016	5	鉄骨造	27	あり	
	車椅子用駐車場・ 渡廊下屋根	2009	12	アルミ等型材	70	あり	

②施設配置図

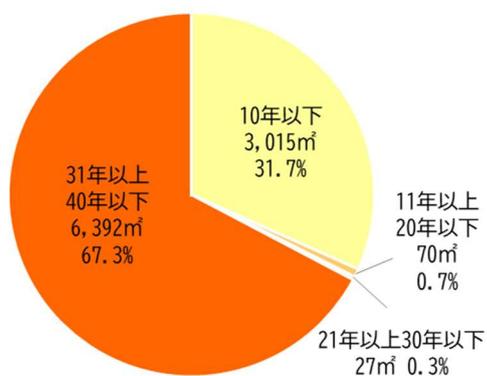


③老朽化の状況

【経過年数】

建築後経過年数をみると、庁舎本館を含む「31年以上40年以下」が6,392㎡（67.3%）で高い割合となっています。

建築後経過年数の状況



【建物調査】

庁舎については、2016（平成 28）年に建物の調査を実施しています。調査の際に確認された劣化は以下のとおりです。

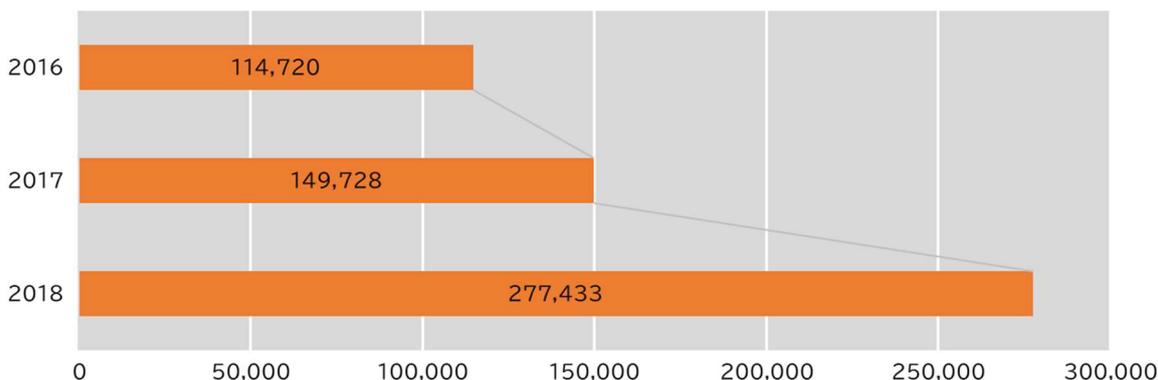
※調査時と現状で異なることがあります。



④管理運営に要する経費

2015（平成 27）年度から 2016（平成 28）年度にかけて、本館を一部改修し別館を新築しました。また 2018（平成 30）年度には非常用発電機設置工事が行われており、経費が大きくなっています。

（単位：千円）



※施設の維持管理や行政サービスに要する費用のほか、固定資産台帳上の減価償却費（工事・備品等）を計上し、職員人件費は経費に含めていません。

（2）施設の役割

【福津市役所】

以前は福間庁舎・津屋崎庁舎に分かれていましたが、2016（平成 28）年 6 月に福間庁舎に統合しました。庁舎は市の行政の拠点の役割として、主に事務所機能、窓口機能、議場・会議室機能、防災機能などを有しており、広く市民の方に利用されています。

（3）現状と課題

【福津市役所】

庁舎統合の際に新築された別館は比較的良好な状態ですが、本館は旧福間町役場を利用しており、建物の老朽化が進行しています。庁舎機能の保全及び災害発生時にも必要な機能を果たせるよう、適切に維持管理を行うことが必要です。

(4) 進捗状況および計画

・庁舎（本館）は各部位の老朽化が進行しているため、期間内に空調等の改修を行うとともに、大規模改修に着手することを予定しています。

アクションプラン（庁舎）

事業年度 施設名	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026
福津市役所	空調改修 （本館）	—	—	大規模改修 設計 （本館）	大規模改修 工事 （本館）

※計画の内容は、財政状況や災害等の状況の変化により変更する可能性があります。

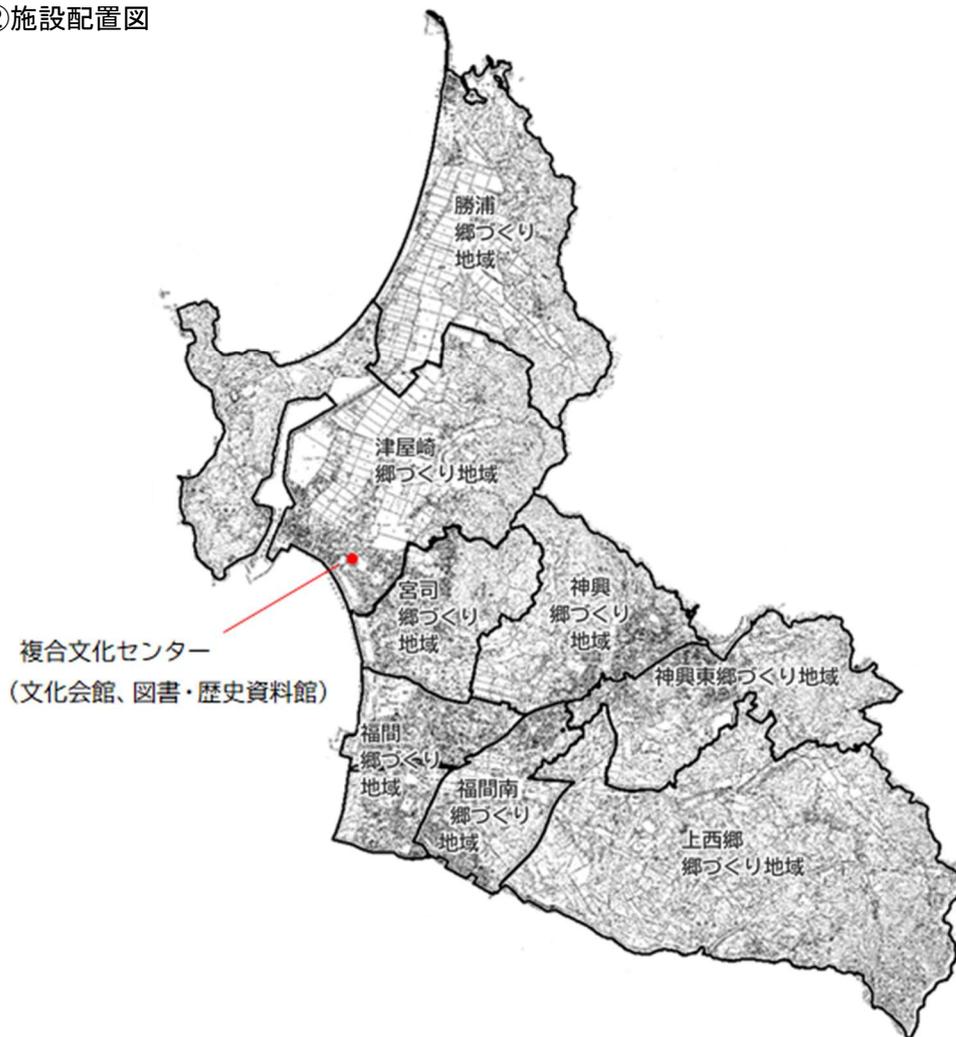
4.文化教養施設

(1) 施設の状況

①施設一覧表

施設名	物件名	竣工 年度	築年数 (2021 年現在)	構造	延床 面積 (㎡)	耐震 性能	避難所
複合文化センター (文化会館)	文化会館	1993	28	鉄筋コンクリート 造	5,148	あり	指定
	倉庫	1993	28	鉄骨造	30	あり	
	車庫	1993	28	鉄骨造	76	あり	
	自転車置場	1993	28	鉄骨造	35	あり	
	機械室	1993	28	鉄筋コンクリート 造	10	あり	
	車椅子用駐車場 ・渡廊下屋根	2013	8	アルミ等型 材	35	あり	
複合文化センター (図書・歴史資料館)	図書・歴史資料館	1987	34	鉄骨造	3,880	あり	—
	倉庫	1987	34	鉄骨造	246	あり	
	車庫	1987	34	鉄骨造	229	あり	
	車椅子用駐車場 ・渡廊下屋根	2013	8	アルミ等型 材	34	あり	
	図書・歴史資料館増 築分	2017	4	鉄骨造	385	あり	
	バス停(道路側)	2017	4	鉄骨造	4	あり	
	バス停(図書・歴史 資料館前)	2017	4	鉄骨造	4	あり	

②施設配置図

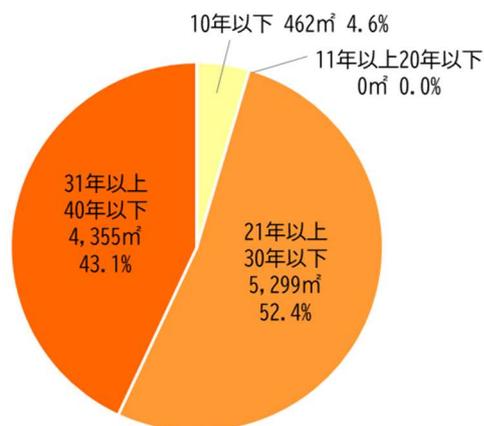


③老朽化の状況

【経過年数】

文化会館が含まれる「21年以上30年以下」が5,299㎡(52.4%)、図書・歴史資料館が含まれる「31年以上40年以下」が4,355㎡(43.1%)となっています。

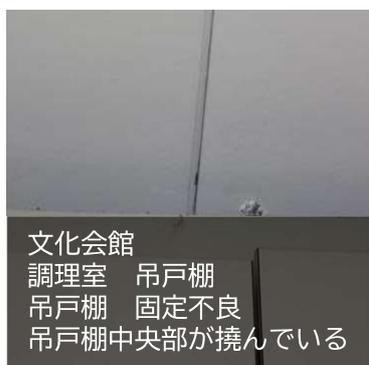
建築後経過年数の状況



【建物調査】

対象施設のうち「複合文化センター（文化会館）」については、2016（平成 28）年に建物の調査を実施しています。調査の際に確認された劣化は以下のとおりです。

※調査時と現状で異なることがあります。

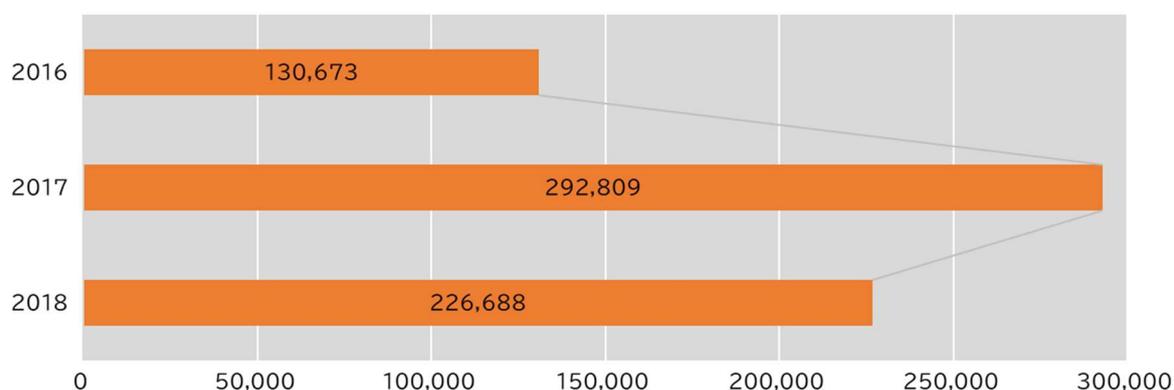


2016（平成 28）年の調査の対象ではなかった「図書・歴史資料館」については、2020（令和 2）年に目視による現況確認を行いました。大規模な改修を要する劣化箇所は見受けられませんでした。

④管理運営に要する経費

2017（平成 29）年度に図書や備品等の購入等を行い「複合文化センター」として整備し、同年度に新しい指定管理者による運営がスタートしました。指定管理者の運営対象が従来の「文化会館」に「図書・歴史資料館」も追加されたことから、指定管理料が増加しています。

（単位：千円）



※施設の維持管理や行政サービスに要する費用のほか、固定資産台帳上の減価償却費（工事・備品等）を計上し、職員人件費は経費に含めていません。

（2）施設の役割

【複合文化センター（文化会館）】

市の文化の中心となる施設で、コンサートや講演会などの各種イベント、研修会や会議などに利用されています。また、住民票や戸籍、所得証明書など諸証明の交付や本庁舎への取り次ぎを行う行政センターを併設しています。

【複合文化センター（図書・歴史資料館）】

市内の文化財を展示する歴史資料館や、くつろぎのカフェテリア、親子で本にふれあえる図書館が揃った滞在型施設です。また起業支援のための貸事務所である企業センターを併設しています。

（3）現状と課題

【複合文化センター（文化会館）】

築 28 年が経過し、老朽化が著しく、不具合が次々と発生しています。特に空調は不

具合が発生すると全館に影響するため、個別空調への移行の検討が必要です。利用者は各地域から来館しています。

【複合文化センター（図書・歴史資料館）】

開館から4年と新しい施設ですが、旧津屋崎庁舎の部分を再利用している箇所では修繕が発生しています。利用者は各地域から来館しています。

(4) 進捗状況および計画

- ・「複合文化センター（文化会館）」は老朽化が進行していることから、期間内に大規模改修に着手することを予定しています。
- ・「複合文化センター（図書・歴史資料館）」は旧津屋崎庁舎を再生整備し、建物の機能の転用、機能の追加、複合化を図りました。整備の中で大規模改修を行ったことから、現時点で大規模な改修が必要な箇所は見受けられません。今後は不具合の発生状況を注視しながら保全を行います。

アクションプラン（文化教養施設）

事業年度 施設名	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026
複合文化センター （文化会館）	大規模改修 設計 （文化会館）	大規模改修 工事 （文化会館）	—	—	—
複合文化センター （図書・歴史資料館）	—	—	—	—	—

※計画の内容は、財政状況や災害等の状況の変化により変更する可能性があります。

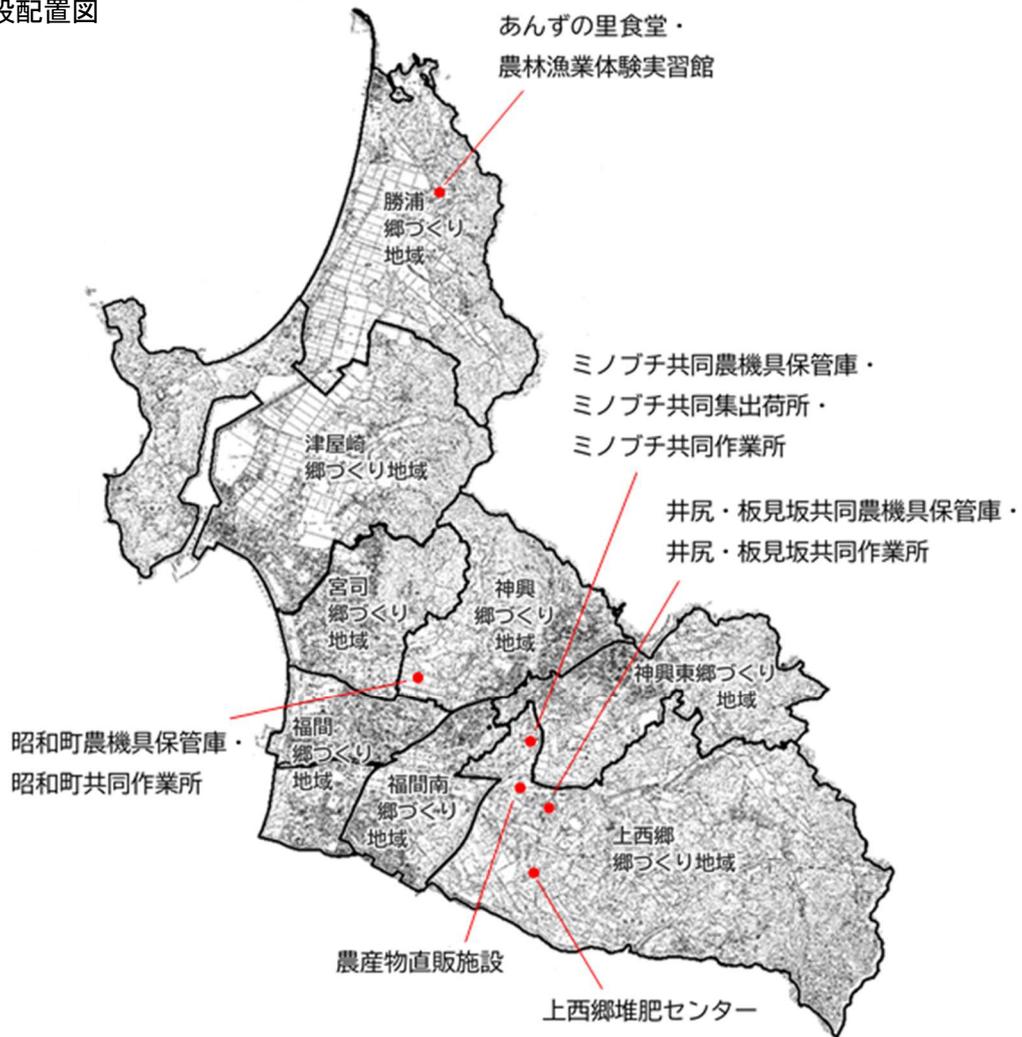
5.農業施設

(1) 施設の状況

①施設一覧表

施設名	物件名	竣工年度	築年数 (2021年現在)	構造	延床面積 (㎡)	耐震性能	避難所
井尻・板見坂共同農機具保管庫	農機具保管庫	1983	38	鉄骨造	293	あり	—
ミノブチ共同農機具保管庫	農機具保管庫	1984	37	鉄骨造	223	あり	—
上西郷堆肥センター	堆肥舎	1986	35	鉄骨造	641	あり	—
	格納庫・管理室	1986	35	鉄骨造	99	あり	
ミノブチ共同集出荷所	共同集出荷所	1980	41	鉄骨造	461	不明	—
昭和町共同作業所	共同作業所	1985	36	鉄骨造	381	あり	—
井尻・板見坂共同作業所	共同作業所	1982	39	鉄骨造	243	あり	—
ミノブチ共同作業所	共同作業所	1982	39	鉄骨造	199	あり	—
農産物直販施設	直販所	1999	22	鉄骨造	526	あり	—
	会議室棟	2010	11	木造	32	あり	
	トイレ棟	2010	11	木造	46	あり	
	車椅子用駐車場・渡廊下屋根	2013	8	アルミ等型材	65	あり	
あんずの里食堂	あんずの里食堂	2004	17	木造	125	あり	—
農林漁業体験実習館	実習館	1995	26	鉄筋コンクリート造	638	あり	指定
	産直施設	1995	26	鉄骨造	428	あり	
	ブローアール室	1995	26	コンクリートブロック造	4	あり	
	陶芸窯室	1995	26	コンクリートブロック造	24	あり	
	公衆便所	2001	20	コンクリートブロック造	39	あり	
	車椅子用駐車場・渡廊下屋根	2013	8	アルミ等型材	65	あり	
	産地形成促進施設	2018	3	鉄骨造	260	あり	
昭和町農機具保管庫	農機具保管庫	2004	17	鉄骨造	499	あり	—

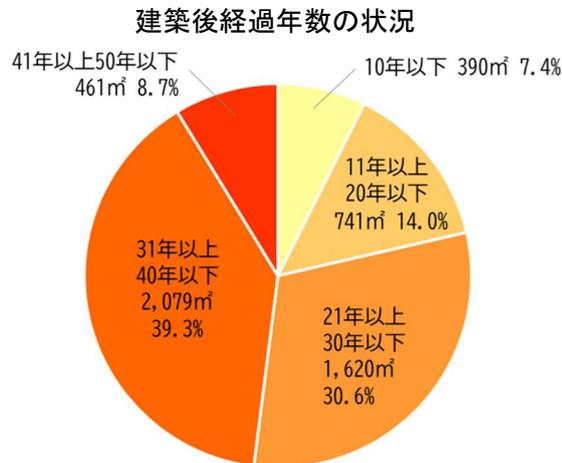
②施設配置図



③老朽化の状況

【経過年数】

建築後経過年数をみると、31年以上40年以下のものが2,079㎡（39.3%）と最も多くなっています。



【建物調査】

対象施設のうち「農産物直販施設」「あんずの里食堂」「農林漁業体験実習館」については、2016（平成 28）年に建物の調査を実施しています。調査の際に確認された劣化は以下のとおりです。

※調査時と現状で異なることがあります。



2016（平成28）年の調査の対象ではなかった「井尻・板見坂共同農機具保管庫」「ミノブチ共同農機具保管庫」「上西郷堆肥センター」「ミノブチ共同集出荷所」「昭和町共同作業所」「井尻・板見坂共同作業所」「ミノブチ共同作業所」「昭和町農機具保管庫」については、2020（令和2）年に目視による現況確認を行いました。確認された主な劣化は以下のとおりです。



④管理運営に要する経費

「農林漁業体験実習館」は、建物の増築と駐車場を拡張する工事を行ったため経費が増加しています。

(単位：千円)



※施設の維持管理や行政サービスに要する費用のほか、固定資産台帳上の減価償却費（工事・備品等）を計上し、職員人件費は経費に含めていません。

※農機具保管庫等…井尻・板見坂共同農機具保管庫、ミノブチ共同農機具保管庫、ミノブチ共同集出荷所、昭和町共同作業所、井尻・板見坂共同作業所、ミノブチ共同作業所、昭和町農機具保管庫

(2) 施設の役割

【井尻・板見坂共同農機具保管庫、ミノブチ共同農機具保管庫、ミノブチ共同集出荷所、昭和町共同作業所、井尻・板見坂共同作業所、ミノブチ共同作業所、昭和町農機具保管庫】

稲作をはじめとする地域農業の省力化と米の品質改善のために、地域で共同使用する農機具を保管したり、共同で米や野菜を集荷、出荷するために利用しています。

【上西郷堆肥センター】

堆肥を生産し、地域の農地に供給散布し、地域農業の生産性向上に寄与しています。

【農産物直販施設】

福津市やその近郊で採れた農産、園芸、水産物を販売しています。併せて、パンや和洋菓子も製造販売しています。有料で精米機も設置しています。

【あんずの里食堂】

あんずの里運動公園、農林漁業体験実習館、産地形成促進施設の利用者への利便性供与とともに、市の農水産物やその加工品等の消費拡大を促進しています。

【農林漁業体験実習館】

生産性・文化性の高い農村社会の構成や、市の農水産物やその加工品等の展示紹介、生産・加工・販路拡大、消費者志向の調査研究を推進します。

(3) 現状と課題

【井尻・板見坂共同農機具保管庫、ミノブチ共同農機具保管庫、ミノブチ共同集出荷所、昭和町共同作業所、井尻・板見坂共同作業所、ミノブチ共同作業所、昭和町農機具保管庫】

建築されてから年数が経過し、建物だけではなく、附帯の機械設備等も老朽化が進んでいます。

【上西郷堆肥センター】

以前からの組合員が高齢により引退され、現在1人で運営しています。また、散布機械が老朽化により故障したため、現在販売のみの対応となっています。

【農産物直販施設】

新しい施設ではないため、設備等の不具合について注視する必要があります。

【あんずの里食堂】

築15年が経過し、劣化が進んでいます。また、建物そのものだけではなく、駐車場や階段等周辺の植栽管理にもコストを要しています。

【農林漁業体験実習館】

体験工房室や体験実習室、加工実習室は寡占的に利用されています。また、建物の劣化度が高く修繕が常態化しています。

(4) 進捗状況および計画

・地域農業施設（井尻・板見坂共同農機具保管庫、ミノブチ共同農機具保管庫、上西郷堆肥センター、ミノブチ共同集出荷所、昭和町共同作業所・井尻・板見坂共同作業所、ミノブチ共同作業所、昭和町農機具保管庫）については、民間移譲に係る協議を行うこととし、協議が整った施設から必要に応じて修繕を行います。

・総合管理計画では農業施設について「施設保有の必要性を検討しつつ、その必要性が高いものについては長寿命化修繕工事などを実施するとともに、施設の効用を最大限発揮できるよう、改修や更新を検討します」としており、施設保有の必要性の検討を引き続き行うこととします。

アクションプラン（農業施設）

事業年度 施設名	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026
井尻・板見坂共同農機具保管庫*	—	—	—	—	—
ミノブチ共同農機具保管庫*	—	—	—	—	—
上西郷堆肥センター*	—	—	—	—	—
ミノブチ共同集出荷所*	—	—	—	—	—
昭和町共同作業所*	—	—	—	—	—
井尻・板見坂共同作業所*	—	—	—	—	—
ミノブチ共同作業所*	—	—	—	—	—
農産物直販施設	—	—	—	—	—
あんずの里食堂	空調改修	空調改修	—	—	—
農林漁業体験実習館	—	—	空調改修 (産直施設)	空調改修 (実習館)	—
昭和町農機具保管庫*	—	—	—	—	—

※*…第3次福津市行政改革大綱の対象施設

※計画の内容は、財政状況や災害等の状況の変化により変更する可能性があります。

6.集会施設

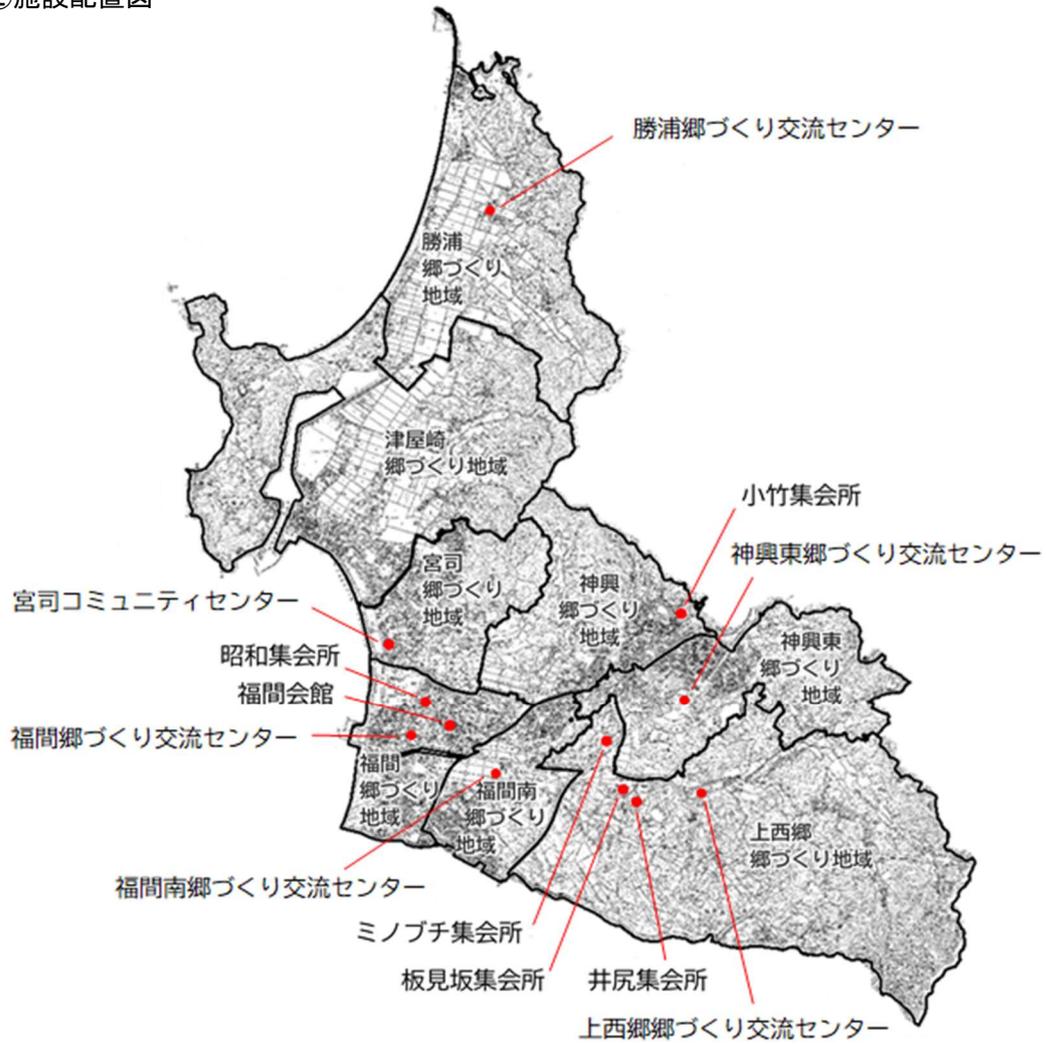
(1) 施設の状況

①施設一覧表

施設名	物件名	竣工年度	築年数 (2021年現在)	構造	延床面積 (㎡)	耐震性能	避難所
福間会館	集会所	1985	36	鉄骨造	476	あり	—
小竹集会所	集会所	1979	42	木造(簡易防火)	258	不明	—
昭和集会所	集会所	1981	40	鉄筋コンクリート造	396	あり	—
	管理人住宅	1990	31	木造(簡易防火)	46	あり	
	倉庫	1990	31	木造(簡易防火)	33	あり	
板見坂集会所	集会所	1983	38	木造(簡易防火)	220	あり	—
ミノブチ集会所	集会所	1983	38	木造(簡易防火)	176	あり	—
井尻集会所	集会所	1984	37	木造(簡易防火)	177	あり	—
宮司コミュニティセンター	コミュニティセンター	2003	18	鉄筋コンクリート造	1,309	あり	指定
	陶芸窯	2003	18	鉄筋コンクリート造	27	あり	
	プロパン庫	2003	18	鉄筋コンクリート造	7	あり	
福間南郷づくり交流センター	集会所、会議室	2014	7	木造	299	あり	—
福間郷づくり交流センター	集会所、会議室	2011	10	木造(簡易防火)	119	あり	—
上西郷郷づくり交流センター	集会所、会議室	1975	46	鉄骨造	397	あり	—
神興東郷づくり交流センター	集会所、会議室	2018	3	木造	202	あり	—
勝浦郷づくり交流センター	集会所、会議室	2019	2	木造	260	あり	—

※神興郷づくり交流センターは神興小学校校舎内に併設されています。津屋崎地域郷づくり推進協議会事務局は現在のまちおこしセンター内から2022(令和4)年4月に津屋崎行政センター内への移転が予定されています。

②施設配置図

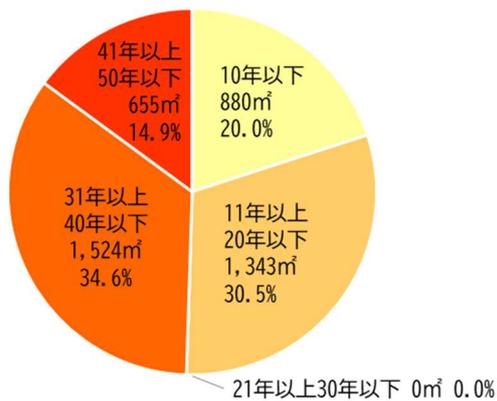


③老朽化の状況

【経過年数】

建築後経過年数をみると、31年以上40年以下のものが1,524㎡（34.6%）と最も多くなっています。

建築後経過年数の状況



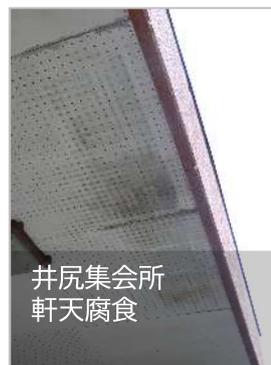
【建物調査】

対象施設のうち「福間会館」「小竹集会所」「宮司コミュニティセンター」「上西郷郷づくり交流センター」については、2016（平成 28）年に建物の調査を実施しています。調査の際に確認された劣化は以下のとおりです。

※調査時と現状で異なることがあります。



2016（平成 28）年の調査の対象ではなかった施設のうち「昭和集会所」「板見坂集会所」「ミノブチ集会所」「井尻集会所」については2020（令和 2）年に、「福間南郷づくり交流センター」「福間郷づくり交流センター」「神興東郷づくり交流センター」「勝浦郷づくり交流センター」については2021（令和 3）年に目視による現況確認を行いました。確認された主な劣化は以下のとおりです。



④管理運営に要する経費

郷づくり交流センター・コミュニティセンターは、2018（H30）年度に神興東郷づくり交流センターの整備を行ったこと等により費用が増加しました。集会所は、水道接続工事を行ったため経費が増加しています。



※施設の維持管理や行政サービスに要する費用のほか、固定資産台帳上の減価償却費（工事・備品等）を計上し、職員人件費は経費に含めていません。

※集会所…小竹集会所、昭和集会所、板見坂集会所、ミノブチ集会所、井尻集会所

※郷づくり交流センター・コミュニティセンター…宮司コミュニティセンター、福間南郷づくり交流センター、福間郷づくり交流センター、上西郷郷づくり交流センター、神興東郷づくり交流センター、勝浦郷づくり交流センター

（2）施設の役割

【福間会館】

社会福祉法第2条に定める第2種社会福祉事業（隣保事業）を実施する施設です。

【小竹集会所、昭和集会所、板見坂集会所、ミノブチ集会所、井尻集会所】

各々の地域活動の拠点となる施設として建設しました。

【宮司コミュニティセンター・福間南郷づくり交流センター・福間郷づくり交流センター・上西郷郷づくり交流センター・神興東郷づくり交流センター・勝浦郷づくり交流センター】

地域住民の相互交流及び地域づくり活動の活性化を推進する拠点施設として、各種会議や事業等を開催しています。勝浦郷づくり交流センターは、勝浦小学校学童保育所を併設しています。

(3) 現状と課題

【福間会館】

現時点では急を要する改修等は予定していませんが、ユニバーサルデザイン計画に基づきバリアフリー化等の整備の検討を必要とします。

【小竹集会所】

耐用年数を踏まえ、今後の施設の方向性を検討する必要があります。

【昭和集会所、板見坂集会所、ミノブチ集会所、井尻集会所】

施設の老朽化に伴い、修繕等を要する箇所があります。

【宮司コミュニティセンター】

築 18 年が経過し老朽化が進んでいるため、今後設備等の更新が必要となります。

【福間南郷づくり交流センター】

築 7 年が経過し、木製建具の老朽化に伴う修繕費が必要となります。

【福間郷づくり交流センター】

会議室が狭いため、郷づくり事業の展開が制限されています。

【上西郷郷づくり交流センター】

築 47 年が経過し、本計画期間内に耐用年数を迎えることから、大規模改修等を検討する必要があります。

【神興東郷づくり交流センター】

2018（平成 30）年度に建設されており、現時点では目立った不具合箇所は見られません。

【勝浦郷づくり交流センター】

2019（平成 31）年度に建設されており、現時点では目立った不具合箇所は見られません。

(4) 進捗状況および計画

- ・現時点では、大規模な改修が必要な箇所はなく、今後は必要に応じて修繕を行います。
- ・木造の建物については期間内に耐用年限に近づくものがあり、今後のあり方を検討する必要があります。

アクションプラン（集会施設）

事業年度 施設名	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026
福間会館	—	—	—	—	—
小竹集会所	—	—	—	—	—
昭和集会所	—	—	—	—	—
板見坂集会所	—	—	—	—	—
ミノブチ集会所	—	—	—	—	—
井尻集会所	—	—	—	—	—
宮司コミュニティセ ンター	LED 改修				
福間南郷づくり交流 センター	—	—	—	—	—
福間郷づくり交流セ ンター	—	—	—	—	—
上西郷郷づくり交流 センター	—	—	—	—	—
神興東郷づくり交流 センター	—	—	—	—	—
勝浦郷づくり交流セ ンター	—	—	—	—	—

※計画の内容は、財政状況や災害等の状況の変化により変更する可能性があります。

7.その他の公共用財産

(1) 施設の状況

①施設一覧表

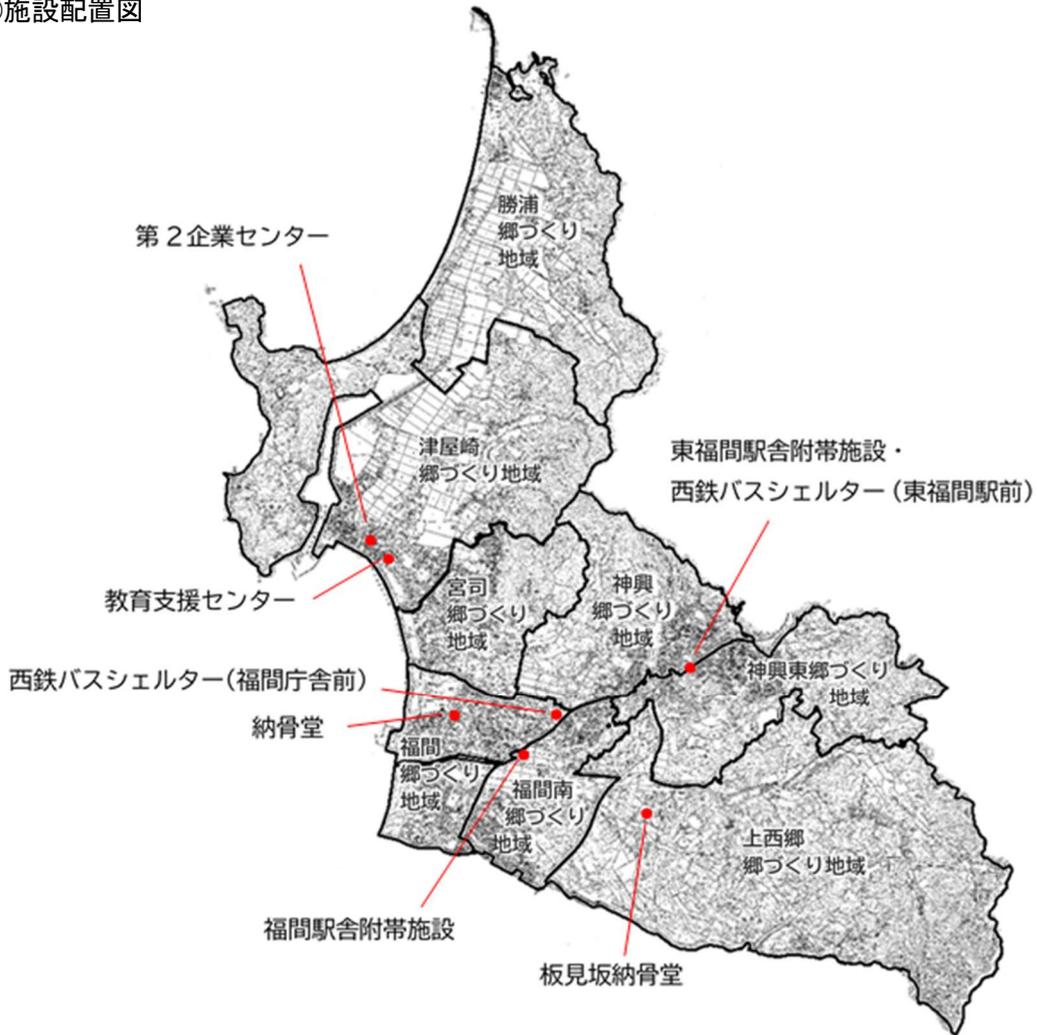
施設名	物件名	竣工年度	築年数 (2021年現在)	構造	延床面積 (㎡)	耐震性能	避難所
板見坂納骨堂	納骨堂	1983	38	鉄筋コンクリート造	100	あり	—
納骨堂	納骨堂	1961	60	鉄筋コンクリート造	364	あり	—
東福間駅舎附帯施設	自由通路	1978	43	鉄骨造	282	不明	—
	エレベーター	2002	19	鉄骨造	36	あり	
	便所	2002	19	鉄筋コンクリート造	14	あり	
	便所目隠し壁	2002	19	鉄筋コンクリート造	2	あり	
福間駅舎附帯施設	西口階段	2008	13	鉄骨造	77	あり	—
	西口エレベーター	2008	13	鉄骨造	12	あり	
	西口エスカレーター	2010	11	鉄骨造	73	あり	
	西口トイレ	2010	11	鉄骨造	43	あり	
	自由通路	2010	11	鉄骨造	505	あり	
	東口階段	2010	11	鉄骨造	78	あり	
	東口エレベーター	2010	11	鉄骨造	15	あり	
	東口エスカレーター	2010	11	鉄骨造	80	あり	
	東口トイレ	2010	11	鉄骨造	49	あり	
	みやじ口2号駐輪場	2010	11	鉄骨造	880	あり	
	さいごう口3号駐輪場	2012	9	鉄骨造	409	あり	
	さいごう口4号駐輪場	2016	5	鉄骨造	1,335	あり	
教育支援センター	教育支援センター1	1985	36	木造	76	あり	—
	教育支援センター2	1997	24	鉄骨造	99	あり	

施設名	物件名	竣工 年度	築年数 (2021 年現在)	構造	延床 面積 (㎡)	耐震 性能	避難所
西鉄バスシェルター (東福岡駅前)	バスシェルター (駅舎側)	1981	40	鉄骨造	18	あり	—
	バスシェルター (東福岡側)	1981	40	鉄骨増	18	あり	
西鉄バスシェルター (福岡庁舎前)	バスシェルター (庁舎側)	2013	8	鉄骨造	15	あり	—
	バスシェルター (反対側)	2010	11	鉄骨造	15	あり	
第2企業センター	事務所	1999	22	軽量鉄骨 造	166	あり	—

※教育支援センターは適応指導教室から名称を変更しています。

※第2企業センターは旧津屋崎郷づくり交流センターの建物を転用して整備したものです。

②施設配置図

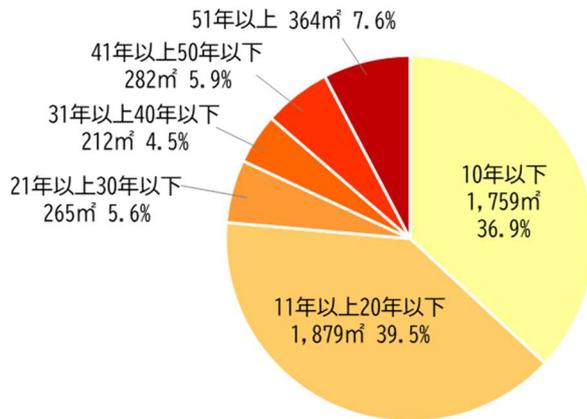


③老朽化の状況

【経過年数】

建築後経過年数をみると、10年以下のものが1,759㎡(36.9%)、11年以上20年以下のものが1,879㎡(39.5%)と高い割合を占めています。

建築後経過年数の状況



【建物調査】

いずれの施設も 2016（平成 28）年の調査の対象外だったため、2020（令和 2）年に目視による現況確認を行いました。確認された主な劣化は以下のとおりです。



板見坂納骨堂
軒天ひび割れ



板見坂納骨堂
軒天塗装剥離



板見坂納骨堂
天井雨漏り



納骨堂
外壁
鉄筋露出



納骨堂
外壁
塗装剥離



教育支援センター
教育支援センター1
軒樋破損



西鉄バスシェルター（東福
間駅前）
バスシェルター（駅舎側）
発錆

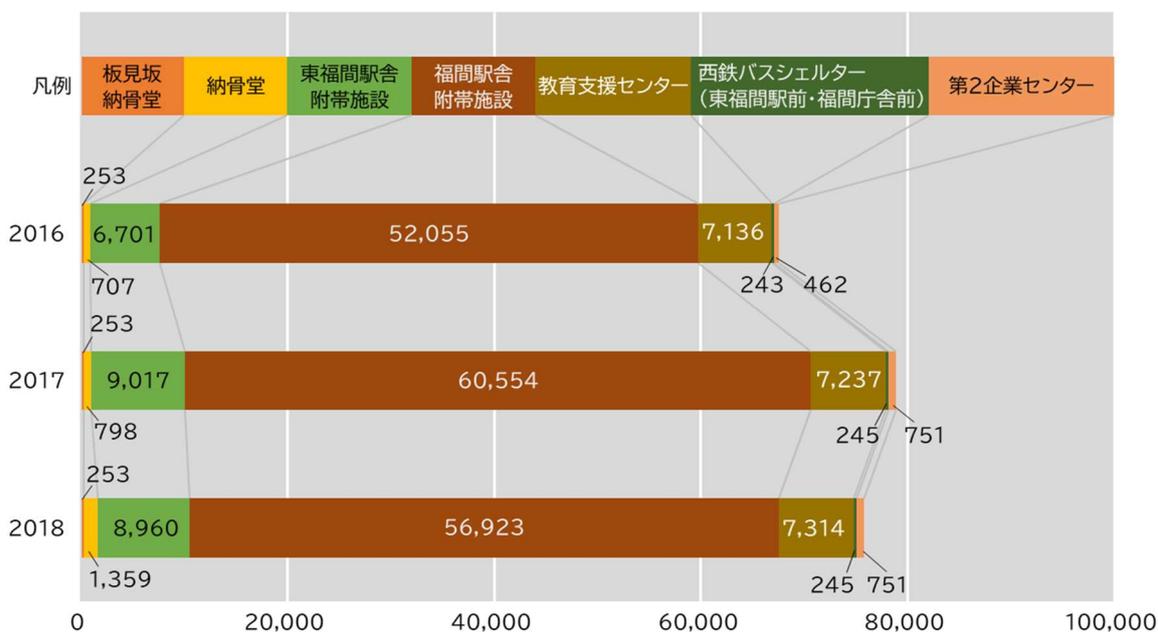


西鉄バスシェルター（東福
間駅前）
バスシェルター（東福間側）
柱腐食

④管理運営に要する経費

「福間駅舎附帯施設」は、駐輪場の増設を行ったため経費が増加傾向です。また「東福間駅舎附帯施設」は、自由通路の改修を行ったため経費が増加しています。

(単位：千円)



※施設の維持管理や行政サービスに要する費用のほか、固定資産台帳上の減価償却費（工事・備品等）を計上し、職員人件費は経費に含めていません。

※第2企業センターは2020（令和2）年度から事業開始のため、減価償却費のみを経費として計上しています。

(2) 施設の役割

【板見坂納骨堂】

地域の遺骨を安置する施設として使用されています。

【納骨堂】

1961（昭和36）年当時、現在の西福間周辺に点在していた墓地を一ヶ所にまとめ、跡地を高度利用するため、国の補助を受け建設された納骨堂です。

【東福間駅舎附帯施設、福間駅舎附帯施設】

交通結節点での交通モード間の移動及び乗り換え等のために整備しています。

【教育支援センター】

学校に登校できない状態にある児童等に対して、社会的自立を図ることを目的として、個々に応じた指導、体験活動等を行っています。

【西鉄バスシェルター（東福間駅前）】

1981（昭和 56）年当時、古賀養護学校（現在の古賀特別支援学校）の生徒を送迎するスクールバスの昇降場所として当該西鉄バス停留所が指定されていたため、バスシェルターを設置しました。設置後は現在まで古賀特別支援学校の生徒のみならず、西鉄バス利用者にも必要不可欠のものとなっています。

【西鉄バスシェルター（福間庁舎前）】

西鉄バスシェルター（東福間駅前）と同時に設置され、庁舎側は 2009（平成 21）年度の道路拡幅の際に、反対側は 2013（平成 25）年度に改修しました。

【第 2 企業センター】

多様な産業や人が繋がることで新たなイノベーションが期待される事業所に事務所の貸付を行い、雇用の創出、魅力ある仕事づくりを促進します。

（3）現状と課題

【板見坂納骨堂】

雨漏りが確認されているため、屋根防水工事の実施を検討する必要があります。

【納骨堂】

築 60 年が経過し老朽化が著しく、安全性を確保する必要があります。

【東福間駅舎附帯施設、福間駅舎附帯施設】

鉄道を跨ぐ自由通路等の施設の工事等は鉄道の運行に影響のない時間帯に行う等の対応が必要であり維持管理コストが高くなる傾向です。

【教育支援センター】

築 36 年が経過していることから、適時修繕等の対応を行う必要があります。

【西鉄バスシェルター（東福間駅前）】

築 40 年が経過していることから、適時修繕等の対応を行う必要があります。

【西鉄バスシェルター（福間庁舎前）】

2009（平成 21）年度と 2013（平成 25）年度に改修しています。

【第 2 企業センター】

築 21 年が経過していますが、現段階では大規模な修理の必要な箇所は見受けられませんが、敷地内の目隠しフェンスの更新・撤去等の検討が必要です。

(4) 進捗状況および計画

- ・「納骨堂」は、老朽化が著しいことから解体します。
- ・「第2企業センター」は旧津屋崎郷づくり交流センターを新たな機能を持つ施設へ転用して整備しました。一定の築年数が経過しているため、老朽化の状況を注視しながら維持を行います。
- ・その他の施設については、現時点では大規模な改修が必要な箇所はなく、今後は必要に応じて修繕を行います。
- ・駅舎附帯施設以外については総合管理計画で「それぞれの施設保有の必要性を検討します」としており、施設保有の必要性の検討を引き続き行うこととします。

アクションプラン（その他の公共用財産）

事業年度 施設名	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026
板見坂納骨堂	—	—	—	—	—
納骨堂*	説明会 解体設計	解体工事	—	—	—
東福間駅舎附帯施設	—	—	—	—	—
福間駅舎附帯施設	—	—	—	—	—
教育支援センター	—	—	—	—	—
西鉄バスシェルター (東福間駅前)	—	—	—	—	—
西鉄バスシェルター (福間庁舎前)	—	—	—	—	—
第2企業センター	—	—	—	—	—

※*…第3次福津市行財政改革大綱の対象施設

※計画の内容は、財政状況や災害等の状況の変化により変更する可能性があります。

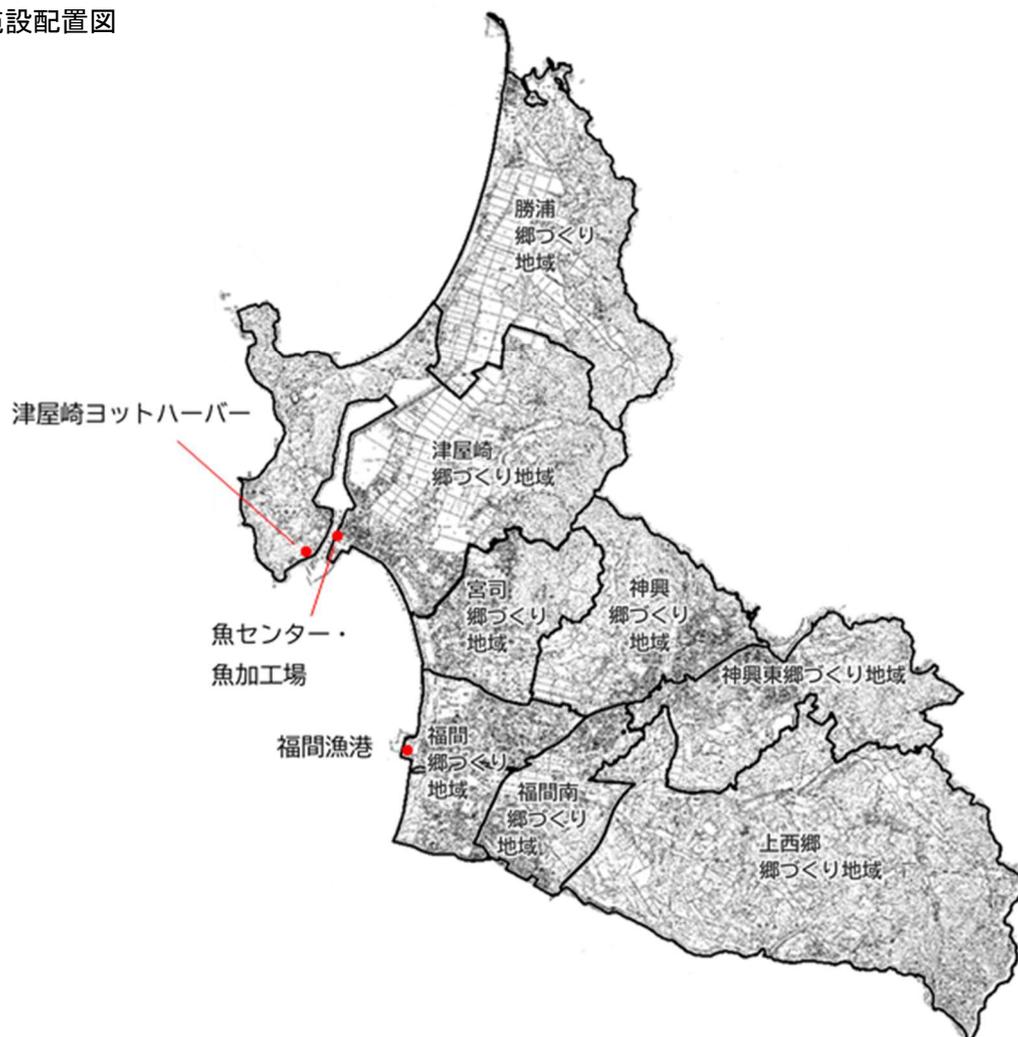
8.水産業施設

(1) 施設の状況

①施設一覧表

施設名	物件名	竣工年度	築年数 (2021年現在)	構造	延床面積 (㎡)	耐震性能	避難所
津屋崎ヨットハーバー	管理棟	2004	17	鉄筋コンクリート造	328	あり	—
福間漁港	管理棟	1999	22	鉄骨造	134	あり	—
	保管庫	1999	22	鉄骨造	90	あり	
	便所	1999	22	コンクリートブロック造	16	あり	
魚センター	直販施設	2004	17	鉄骨造	556	あり	—
	朝市アーケード	2004	17	鉄骨造	974	あり	
	ポンプ室	2004	17	鉄筋コンクリート造	13	あり	
	デッキ	2004	17	鉄骨造	84	あり	
	直販施設（増築部分）	2019	2	鉄骨造	58	あり	
	倉庫	2018	3	鉄骨造	10	あり	
魚加工場	加工場	2019	2	鉄骨造	135	あり	—
	プレハブ冷凍庫	2020	1	鉄骨造	7	あり	

②施設配置図

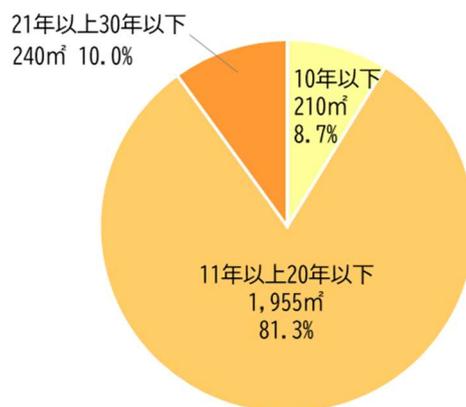


③老朽化の状況

【経過年数】

建築後経過年数をみると、11年以上20年以下のものが1,955㎡(81.3%)と最も多くなっています。

建築後経過年数の状況



【建物調査】

対象施設のうち「津屋崎ヨットハーバー」「福間漁港」「魚センター」については、2016（平成 28）年に建物の調査を実施しています。調査の際に確認された劣化は以下のとおりです。

※調査時と現状で異なることがあります。



2016（平成 28）年の調査の対象ではなかった「魚加工場」については 2020（令和 2）年に目視による現況確認を行いました。築年が浅く特に劣化は確認されませんでした。

④管理運営に要する経費

「魚センター」は増築工事に先立ち仮設建物を設置したため、2018（平成 30）年度の経費が増加しています。

（単位：千円）



※施設の維持管理や行政サービスに要する費用のほか、固定資産台帳上の減価償却費（工事・備品等）を計上し、職員人件費は経費に含めていません。

※津屋崎ヨットハーバー、福間漁港の経費のうち、船の係留施設等の土木系の経費は本計画では対象外としています。ただし、電気料金等は土木系の経費を区別して計上することが困難であることから、そのまま対象経費として計上しています。

※魚加工場は、2016（平成 28）年度から 2018（平成 30）年度の 3 年間で計上する対象となる経費がないため、記載していません。

（2）施設の役割

【津屋崎ヨットハーバー】

個人所有のプレジャーボート・ヨットの係留施設です。

【福間漁港】

漁港施設は漁業組合加入の漁船の係留等、小型船舶係留施設は個人所有のプレジャーボートの係留、公園は不特定多数の方が利用可能な海浜公園として利用されています。

【魚センター】

市の水産物及び加工品等の展示紹介、生産並びに販路拡大、消費者志向等の調査研究及び情報交換等を推進し、市産業の振興を図るとともに地産地消を促進する施設です。

【魚加工場】

市の水産物加工品等の生産を推進し、冷凍施設等の整備など安定的な供給体制を構築することによる生産性の向上、市水産業の振興を図る施設です。

（3）現状と課題

【津屋崎ヨットハーバー・福間漁港】

施設全体に老朽化が進み、特に福間漁港は今後の修繕が多発することが予想され、維持費増加が見込まれます。

【魚センター】

2004（平成 16）年の施設整備から 17 年が経過し、附帯の機械設備等の老朽化が進んでいます。

【魚加工場】

2019（平成 31）年の施設供用開始から 2 年が経過していますが、新しい施設であることから特に問題はありません。

(4) 進捗状況および計画

- ・現時点では大規模な改修が必要な箇所はなく、今後は必要に応じて修繕を行います。
- ・水産業施設については総合管理計画で「それぞれの施設保有の必要性を検討しつつ、その必要性が高いものについては長寿命化修繕工事などを実施するとともに、施設の効用を最大限発揮できるよう、改修や更新を検討します」としており、施設保有の必要性の検討を引き続き行うこととします。

アクションプラン（水産業施設）

事業年度 施設名	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026
津屋崎ヨットハーバー	—	—	—	—	—
福間漁港	—	—	—	—	—
魚センター	—	—	—	—	—
魚加工場	—	—	—	—	—

※計画の内容は、財政状況や災害等の状況の変化により変更する可能性があります。

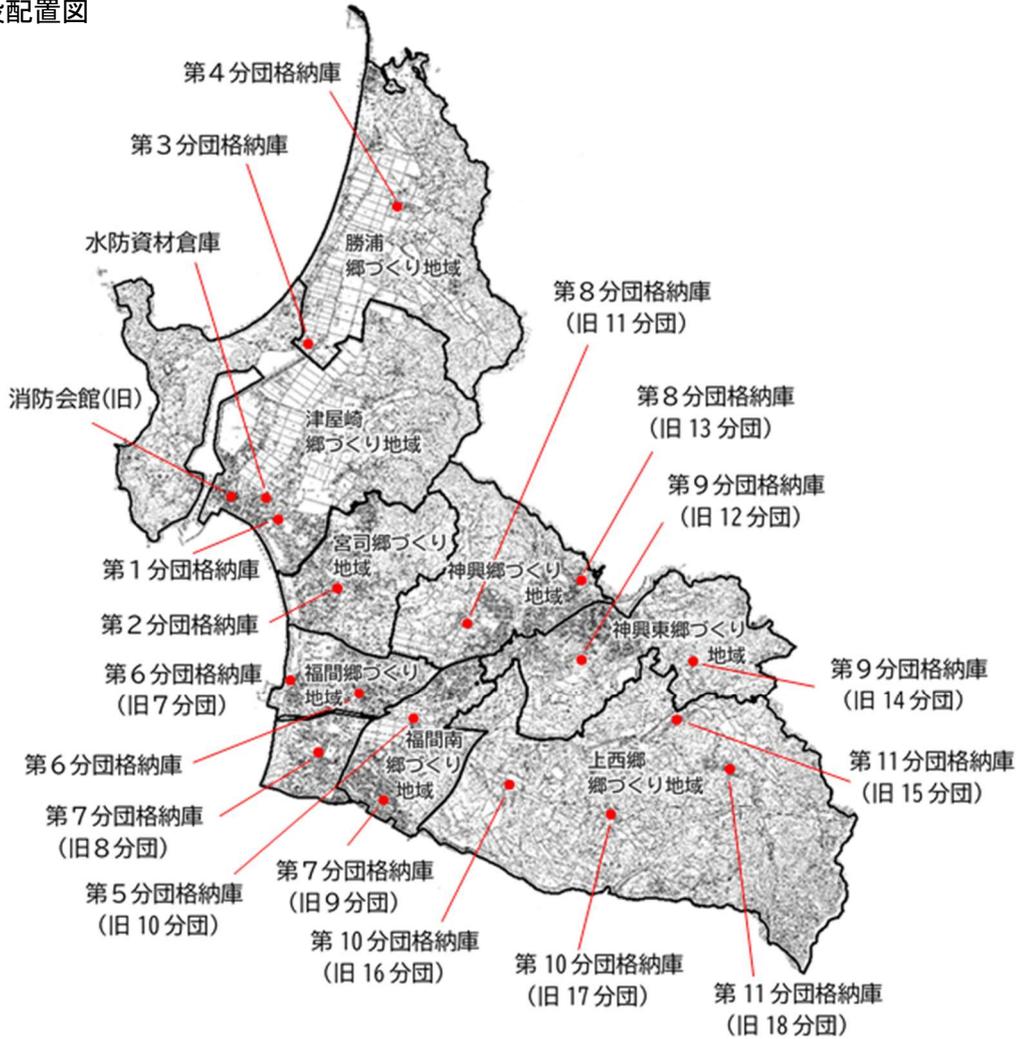
9.消防施設

(1) 施設の状況

①施設一覧表

施設名	物件名	竣工 年度	築年数 (2021 年現在)	構造	延床 面積 (㎡)	耐震 性能	避難所
第1分団格納庫	消防詰所兼格納庫	2012	9	鉄骨造	132	あり	—
第2分団格納庫	消防詰所兼格納庫	2016	5	鉄骨造	144	あり	—
第3分団格納庫	消防詰所兼格納庫	1992	29	鉄骨造	72	あり	—
第4分団格納庫	消防詰所兼格納庫	1997	24	鉄骨造	53	あり	—
第5分団格納庫 (旧10分団)	消防詰所兼格納庫	1989	32	鉄骨造	64	あり	—
第6分団格納庫	消防詰所兼格納庫	1985	36	鉄骨造	71	あり	—
第6分団格納庫 (旧7分団)	消防詰所兼格納庫	1992	29	鉄骨造	72	あり	—
第7分団格納庫 (旧8分団)	消防詰所兼格納庫	1988	33	鉄骨造	95	あり	—
第7分団格納庫 (旧9分団)	消防詰所兼格納庫	1989	32	鉄骨造	71	あり	—
第8分団格納庫 (旧11分団)	消防詰所兼格納庫	1978	43	鉄骨造	78	不明	—
第8分団格納庫 (旧13分団)	消防詰所兼格納庫	1984	37	鉄骨造	62	あり	—
第9分団格納庫 (旧12分団)	消防詰所兼格納庫	1993	28	鉄骨造	72	あり	—
第9分団格納庫 (旧14分団)	消防詰所兼格納庫	1976	45	木造(簡易防 火)	60	不明	—
第10分団格納庫 (旧16分団)	消防詰所兼格納庫	1979	42	鉄骨造	82	不明	—
第10分団格納庫 (旧17分団)	消防詰所兼格納庫	1971	50	木造(簡易防 火)	51	不明	—
第11分団格納庫 (旧15分団)	消防詰所兼格納庫	1977	44	鉄骨造	65	不明	—
第11分団格納庫 (旧18分団)	消防詰所兼格納庫	1989	32	木造(簡易防 火)	85	あり	—
水防資材倉庫	倉庫	1960	61	軽量鉄骨造	22	不明	—
消防会館(旧)	倉庫	1956	65	コンクリートブロック造	121	不明	—

②施設配置図

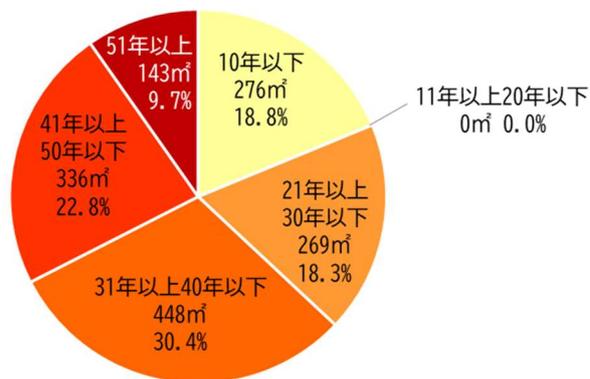


③老朽化の状況

【経過年数】

建築後経過年数をみると、31年以上40年以下のものが448㎡（30.4%）と最も多く、年数は比較的分散しています。

建築後経過年数の状況



【建物調査】

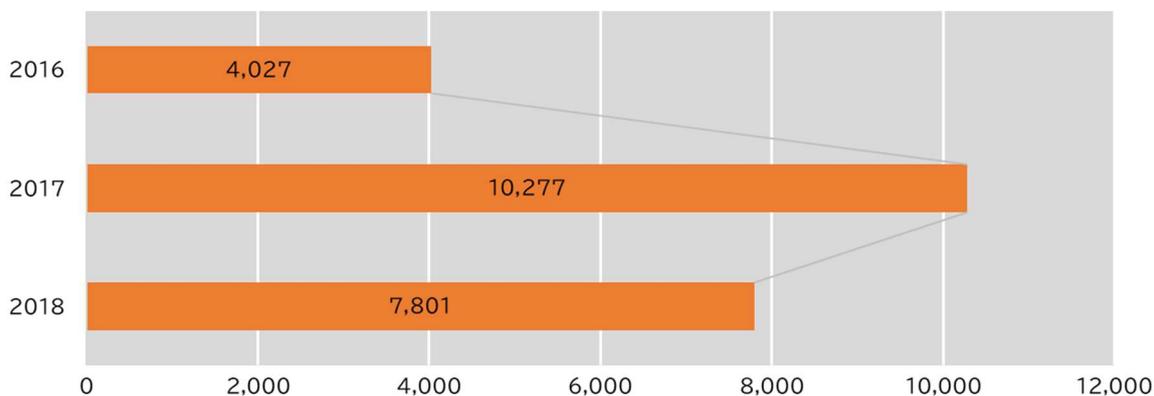
いずれの施設も 2016（平成 28）年の調査の対象外だったため、2020（令和 2）年に目視による現況確認を行いました。確認された主な劣化は以下のとおりです。



④管理運営に要する経費

公共下水道整備に伴う水洗化や老朽化に伴う修繕等の経費が生じています。

(単位：千円)



※施設の維持管理や行政サービスに要する費用のほか、固定資産台帳上の減価償却費（工事・備品等）を計上し、職員人件費は経費に含めていません。

(2) 施設の役割

【第1分団格納庫～第11分団格納庫】

消防団の消防活動の拠点施設として、消防団員の警戒待機場所、消防車両、消防資器材の格納場所として利用しています。

【水防資材倉庫】

災害時に利用する、角材、木杭などを保管しています。

【消防会館（旧）】

消防団活動に使用する、テント、水槽、資器材を保管しています。

(3) 現状と課題

【第1分団格納庫・第2分団格納庫】

目立った不具合箇所はありません。

【第3分団格納庫・第4分団格納庫・第5分団格納庫（旧10分団）】

建物の老朽化による不具合には、適宜修繕を行っています。

【第6分団格納庫・第6分団格納庫（旧7分団）・第7分団格納庫（旧8分団）・第7分団格納庫（旧9分団）・第8分団格納庫（旧13分団）・第9分団格納庫（旧12分団）・第11分団格納庫（旧18分団）】

建物の老朽化による不具合には、適宜修繕を行っています。分団の統合に合わせた施

設の統合の検討が必要です。

【第8分団格納庫（旧11分団）・第9分団格納庫（旧14分団）・第10分団格納庫（旧16分団）・第10分団格納庫（旧17分団）・第11分団格納庫（旧15分団）】

建物の老朽化が著しく、適宜修繕を行っています。分団の統合に合わせた施設の統合の検討が必要です。

【水防資材倉庫】

築61年で、建物の老朽化が著しく、安全性を確保する必要があります。

【消防会館（旧）】

築65年で、本計画期間内に耐用年数を迎えることから、安全性の確保及び施設のあり方を検討する必要があります。

(4) 進捗状況および計画

- ・「第11分団格納庫（旧18分団）」については、公共下水道整備に伴う水洗化工事を行います。
- ・「消防会館（旧）」については、老朽化が著しいため2022（令和4）年度に解体します。
- ・その他の施設については、現時点では大規模な改修が必要な箇所はなく、今後は必要に応じて修繕を行います。
- ・格納庫については総合管理計画で「昭和40年代、50年代に建築されたものが6棟あり、老朽化が進んでいます。消防団の将来的なあり方とあわせ、施設の更新などを検討します」としており、老朽化の状況等をふまえながら、格納庫以外の施設も含めた今後の方針の検討を行うこととします。

アクションプラン（消防施設）

施設名	事業年度	R4	R5	R6	R7	R8
		2022	2023	2024	2025	2026
第1分団格納庫		—	—	—	—	—
第2分団格納庫		—	—	—	—	—
第3分団格納庫		—	—	—	—	—
第4分団格納庫		—	—	—	—	—
第5分団格納庫（旧10分団）		—	—	—	—	—
第6分団格納庫		—	—	—	—	—
第6分団格納庫（旧7分団）		—	—	—	—	—

施設名	事業年度	R4	R5	R6	R7	R8
		2022	2023	2024	2025	2026
第7分団格納庫（旧8分団）		—	—	—	—	—
第7分団格納庫（旧9分団）		—	—	—	—	—
第8分団格納庫（旧11分団）		—	—	—	—	—
第8分団格納庫（旧13分団）		—	—	—	—	—
第9分団格納庫（旧12分団）		—	—	—	—	—
第9分団格納庫（旧14分団）		—	—	—	—	—
第10分団格納庫（旧16分団）		—	—	—	—	—
第10分団格納庫（旧17分団）		—	—	—	—	—
第11分団格納庫（旧15分団）		—	—	—	—	—
第11分団格納庫（旧18分団）		—	水洗化	—	—	—
水防資材倉庫		—	—	—	—	—
消防会館（旧）		解体	—	—	—	—

※計画の内容は、財政状況や災害等の状況の変化により変更する可能性があります。

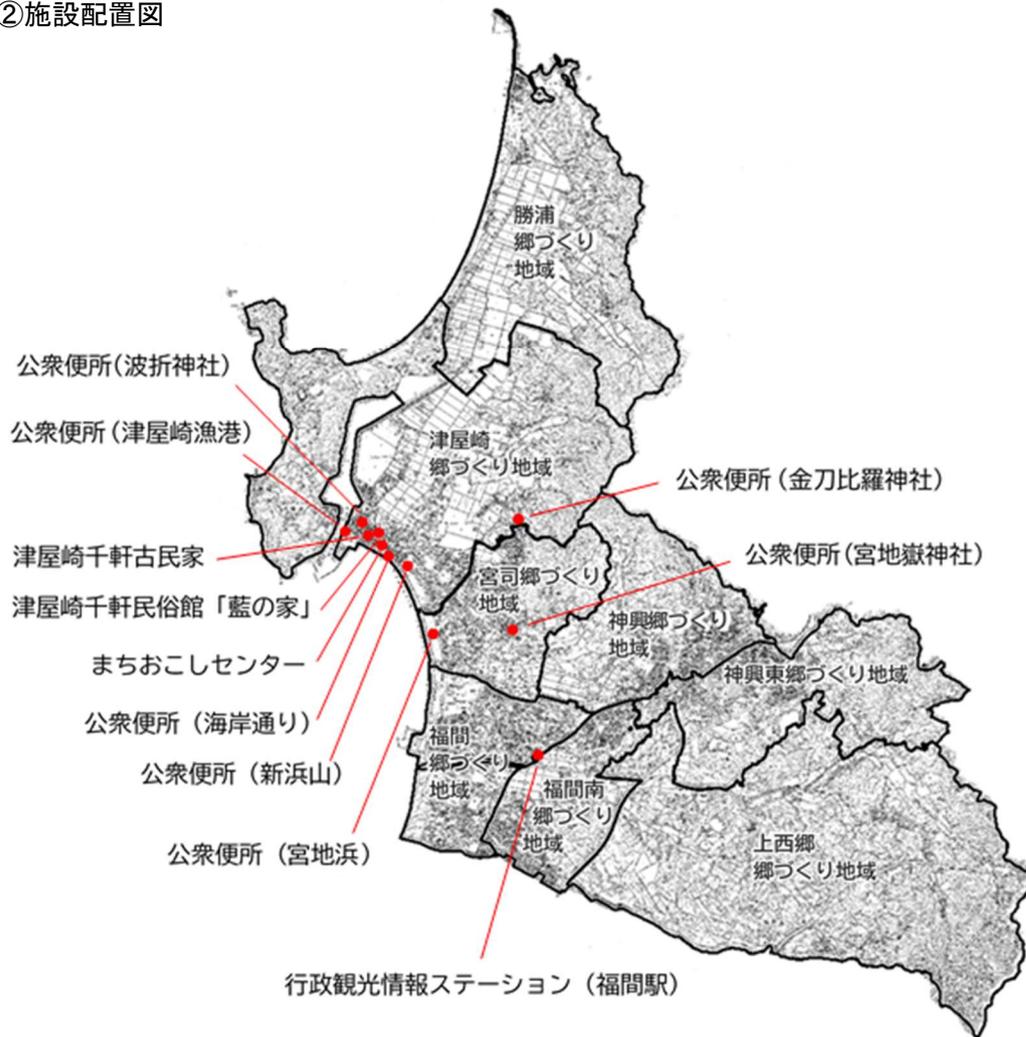
10.観光施設

(1) 施設の状況

①施設一覧表

施設名	物件名	竣工 年度	築年数 (2021 年現在)	構造	延床 面積 (㎡)	耐震 性能	避難所
津屋崎千軒古民家	家屋	1926	95	木造	114	あり	—
まちおこしセンター	まちおこしセン ター	2008	13	木造	487	あり	—
津屋崎千軒民俗館「藍 の家」	民俗館	1901	120	木造	251	不明	—
公衆便所（波折神社）	便所	1997	24	木造	9	あり	—
公衆便所（新浜山）	便所	1990	31	コンクリート ブロック造	38	あり	—
公衆便所（宮地嶽神社）	便所	1991	30	木造	21	あり	—
公衆便所（海岸通り）	便所	1992	29	鉄筋コンクリ ート造	18	あり	—
公衆便所（宮地浜）	便所	1994	27	鉄筋コンクリ ート造	22	あり	—
公衆便所（津屋崎漁港）	便所	1999	22	鉄筋コンクリ ート造	73	あり	—
公衆便所（金刀比羅神 社）	便所	2004	17	木造	15	あり	—
行政観光情報ステーシ ョン（福間駅）	行政観光情報ス テーション	2010	11	鉄骨造	110	あり	—

②施設配置図

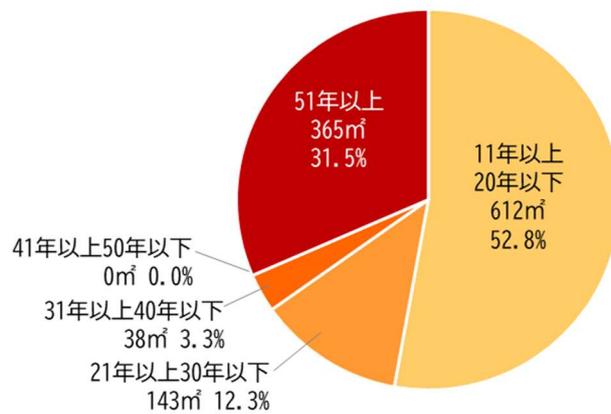


③老朽化の状況

【経過年数】

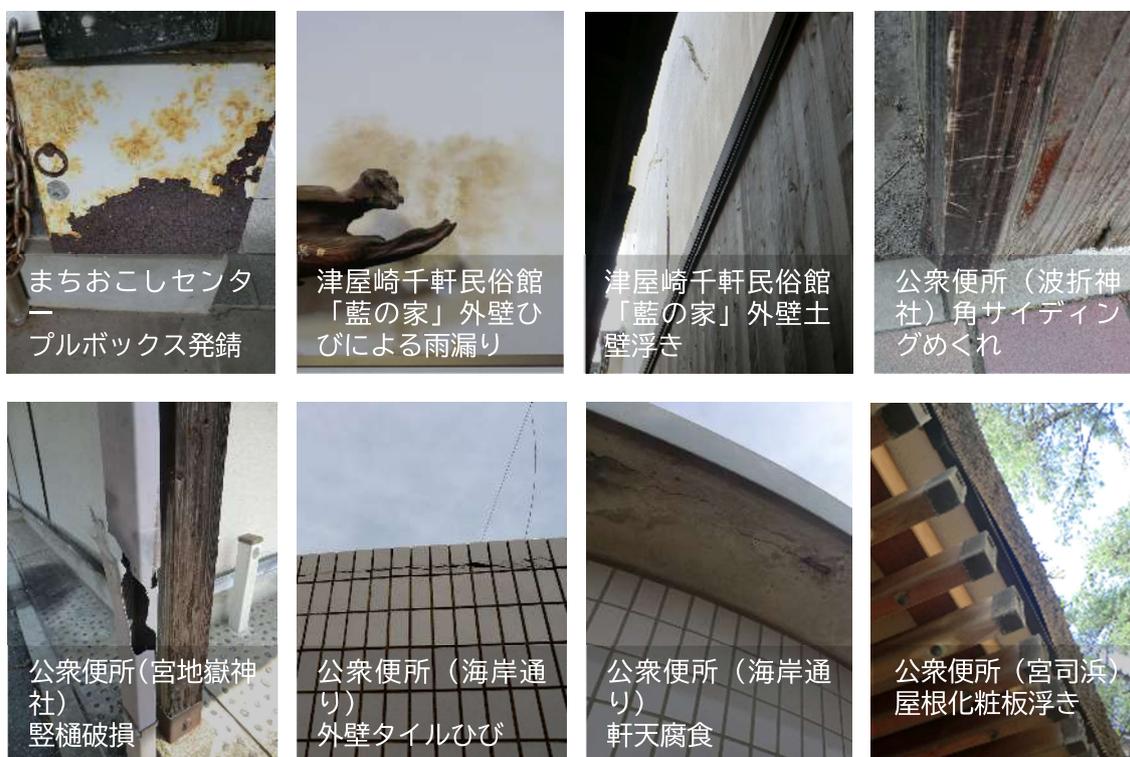
建築後経過年数をみると、11年以上20年以下のものが612㎡(52.8%)と最も多くなっています。

建築後経過年数の状況



【建物調査】

いずれの施設も 2016（平成 28）年の調査の対象外だったため、2020（令和 2）年に目視による現況確認を行いました。確認された主な劣化は以下のとおりです。



④管理運営に要する経費

「行政観光情報ステーション」は、利用状況をふまえて委託内容の見直しを行ったため、経費が減少しています。

（単位：千円）



※施設の維持管理や行政サービスに要する費用のほか、固定資産台帳上の減価償却費（工事・備品等）を計上し、職員人件費は経費に含めていません。

(2) 施設の役割

【津屋崎千軒古民家】

津屋崎千軒の町並みの保存及び地域の活性化に資する賑わい空間の創出を図っています。

【まちおこしセンター】

市の観光、歴史、文化、伝統等に関する情報を広く提供することにより、市の観光の振興と地域の活性化を図っています。

【津屋崎千軒民俗館「藍の家」】

建物が有する文化的価値を伝承し、津屋崎千軒の街並みの保存や地域文化のPRなどにより地域の活性化を図っています。

【公衆便所（波折神社、新浜山、宮地嶽神社、海岸通り、宮地浜、津屋崎漁港、金刀比羅神社）】

福津市に訪れる観光客の利便性の向上と受け入れ環境の充実を図っています。

【行政観光情報ステーション（福間駅）】

市の玄関口である JR 福間駅内において、行政及び観光等に関するサービスや情報を提供することにより、市民サービスの向上及び観光案内サービスの推進を図っています。2019（令和元）年度に J N T O（日本政府観光局）外国人観光案内所の認可を取得するなど国内だけでなく、外国人観光客の受入体制強化も推進しています。

(3) 現状と課題

【津屋崎千軒古民家】

1926（昭和元）年に築造され、2007（平成 19）年に市に寄贈を受けた後、改修工事を実施しました。以後運営者を公募しており、今後も引き続き施設の有効活用を図っていきます。

【まちおこしセンター】

築 10 年以上が経過し、外壁にチョーキング現象が発生していることから対策について検討する必要があります。

【津屋崎千軒民俗館「藍の家」】

築 120 年が経過し、柱の歪みにより外壁が破損するなど老朽化が進んでいます。安全性の面から柱の補強や耐震補強を実施する必要があります。

【公衆便所（波折神社、新浜山、宮地嶽神社、海岸通り、宮地浜、津屋崎漁港、金刀比羅神社）】

施設の老朽化等による機器破損の修繕などにより、維持管理の面で大きなコストが発生しています。

【行政観光情報ステーション（福間駅）】

現時点で大きな不具合は発生していません。

（４）進捗状況および計画

- ・「まちおこしセンター」は、外壁改修を2022（令和4）年度に、空調改修を2022（令和4）年度以降に予定しています。
- ・「津屋崎千軒民俗館『藍の家』」は、2022（令和4）年度に外壁改修を行います。
- ・「公衆便所（宮地浜）」は、2022（令和4）年度に洋式化工事を行います。また、維持管理費の削減に向けた見直しを行います。
- ・その他の施設については、現時点では大規模な改修が必要な箇所はなく、今後は必要に応じて修繕を行います。
- ・総合管理計画において観光施設は「それぞれの施設保有の必要性を検討します。また、施設の維持が必要な場合は、予防保全の視点を持ち、長期利用ができるように維持管理を行います」としており、施設保有の必要性の検討を引き続き行うこととします。

アクションプラン（観光施設）

事業年度 施設名	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026
津屋崎千軒古民家	—	—	—	—	—
まちおこしセンター	外壁改修 空調改修	空調改修	空調改修	—	—
津屋崎千軒民俗館「藍の家」	外壁改修	—	—	—	—
公衆便所（波折神社）*	—	—	—	—	—
公衆便所（新浜山）*	—	—	—	—	—
公衆便所（宮地嶽神社）*	—	—	—	—	—
公衆便所（海岸通り）*	—	—	—	—	—
公衆便所（宮地浜）*	洋式化工事	—	—	—	—
公衆便所（津屋崎漁港）*	—	—	—	—	—
公衆便所（金刀比羅神社）*	—	—	—	—	—

事業年度 施設名	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026
行政観光情報ステーション (福間駅)	—	—	—	—	—

※*…第3次福津市行財政改革大綱の対象施設

※計画の内容は、財政状況や災害等の状況の変化により変更する可能性があります。

11.幼稚園

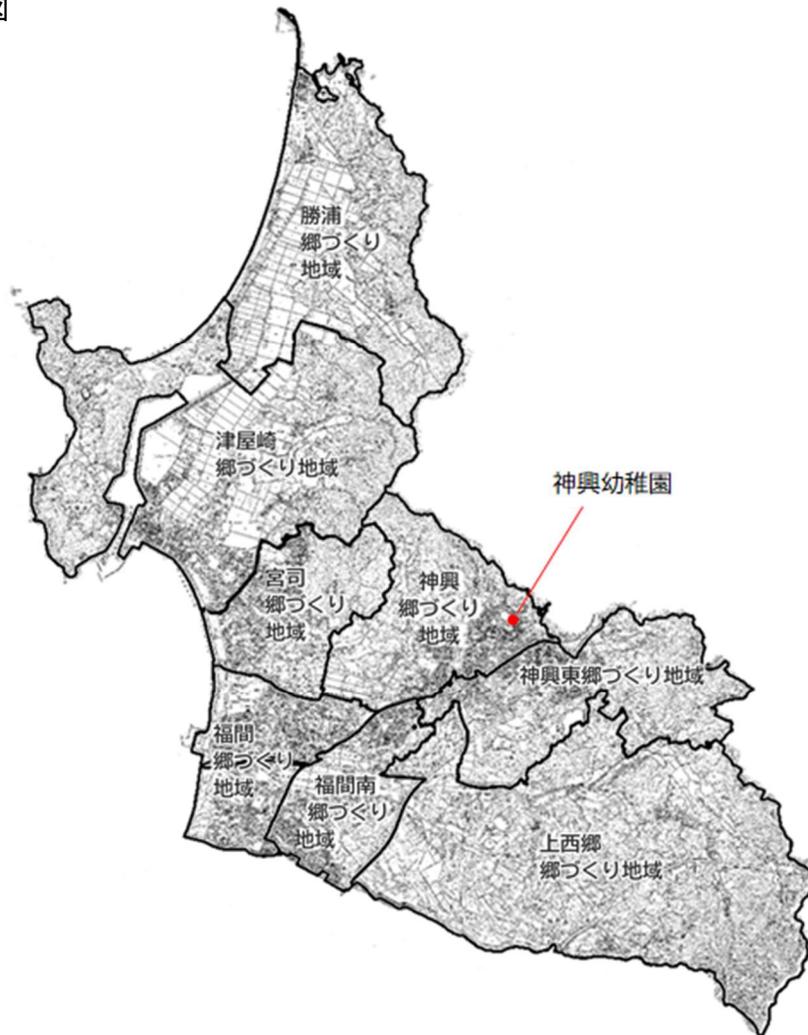
(1) 施設の状況

①施設一覧表

施設名	物件名	竣工 年度	築年数 (2021 年現在)	構造	延床 面積 (㎡)	耐震 性能	避難所
神興幼稚園	校舎・幼稚園舎	1971	50	木造	409	あり	—
	校舎・幼稚園舎	1978	43	鉄骨造	180	あり	
	倉庫	1986	35	鉄骨造	48	あり	

※上西郷幼稚園は 2017（平成 29）年 3 月に閉園しました。

②施設配置図

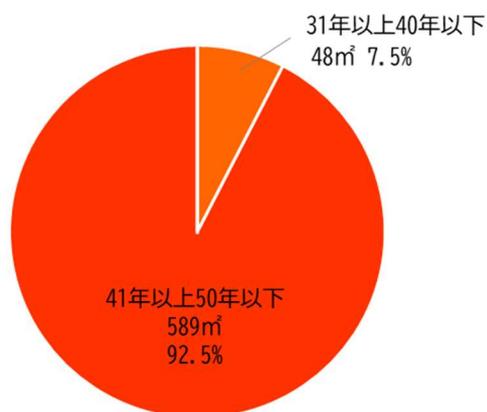


③老朽化の状況

【経過年数】

建築後経過年数をみると、41年以上50年以下のものが589㎡(92.5%)となっています。

建築後経過年数の状況



【建物調査】

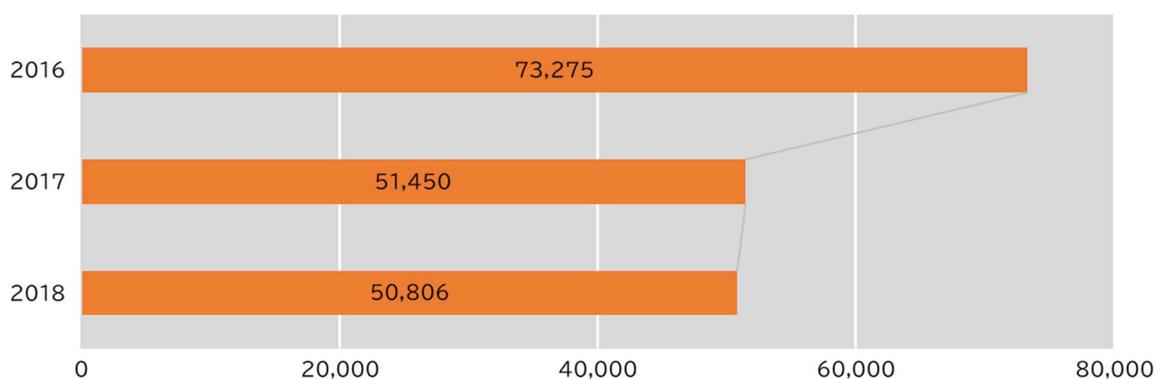
2016（平成 28）年の調査の対象外だったため、2020（令和 2）年に目視による現況確認を行いました。確認された主な劣化は以下のとおりです。



④管理運営に要する経費

2016（平成 28）年度末で上西郷幼稚園が閉園となり、神興幼稚園のみの経費となりました。

（単位：千円）



※施設の維持管理や行政サービスに要する費用のほか、固定資産台帳上の減価償却費（工事・備品等）を計上し、職員人件費は経費に含めていません。

※2016（平成 28）年度は上西郷幼稚園の経費（減価償却費は除く）を含みます。

（2）施設の役割

【神興幼稚園】

幼児を保育し、健やかな成長のための環境を提供することで、その心身の発達を助長し、「共に生きる力」をもった子供の育成を行っています。

(3) 現状と課題

【神興幼稚園】

築 50 年が経過し外壁や床などの劣化が著しい状態です。今後も安全な利用及び維持を継続するためには、維持管理についての計画的な対策の検討が必要となります。

(4) 進捗状況および計画

・ 期間内では大規模な改修を予定していませんが、既に築 50 年を経過しています。建物の新築は本市の厳しい財政状況のなかでは困難であり、施設の機能の必要性の検討にあたっては、新築以外の手段を選択肢とすることを念頭に置くことが求められます。

アクションプラン（幼稚園）

事業年度 施設名	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026
神興幼稚園	—	—	—	—	—

※計画の内容は、財政状況や災害等の状況の変化により変更する可能性があります。

12.文化財等施設

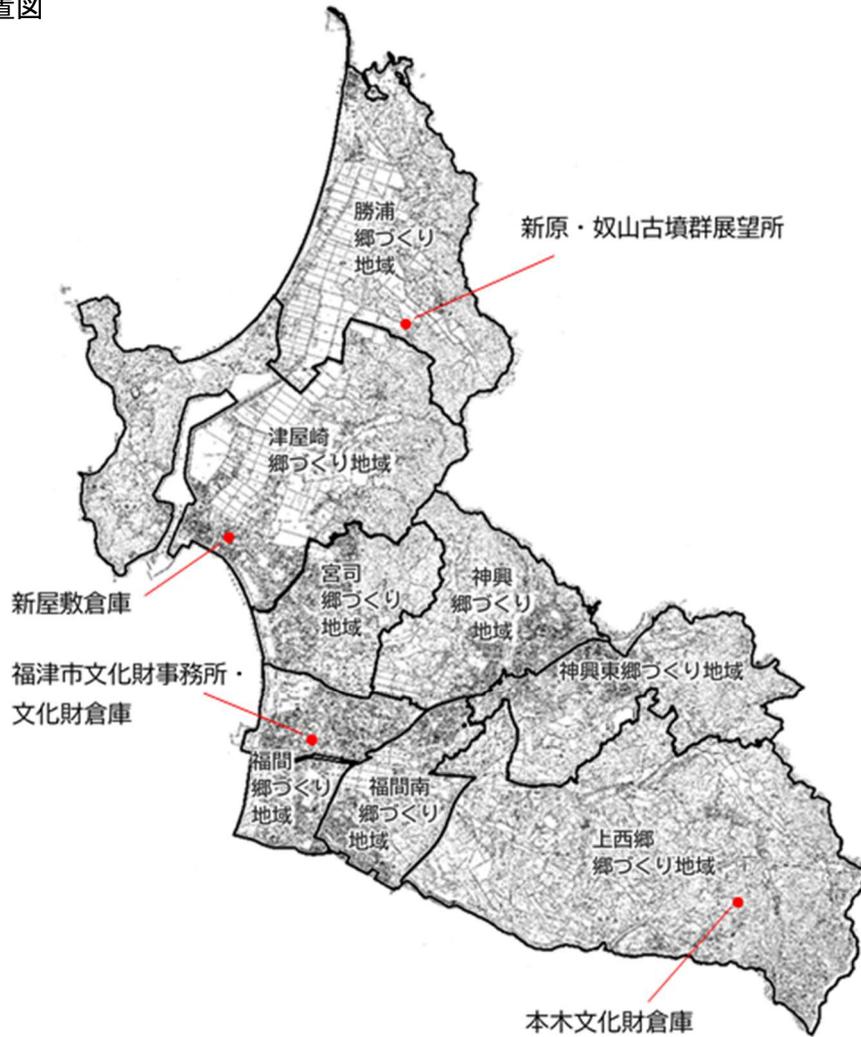
(1) 施設の状況

①施設一覧表

施設名	物件名	竣工年度	築年数 (2021年現在)	構造	延床面積 (㎡)	耐震性能	避難所
福津市文化財事務所	事務所	1995	26	軽量鉄骨造	182	あり	—
本木文化財倉庫	倉庫	1998	23	鉄骨造	331	あり	—
新屋敷倉庫	倉庫	1969	52	鉄骨造	372	不明	—
文化財倉庫	倉庫	1995	26	木造(簡易防火)	114	あり	—
新原・奴山古墳群展望所	四阿・詰所棟	2018	3	鉄筋コンクリート造	32	あり	—
	便所棟	2018	3	鉄筋コンクリート造	37	あり	

※新原・奴山古墳群展望所は昭和学園前展望所から名称を変更しました。

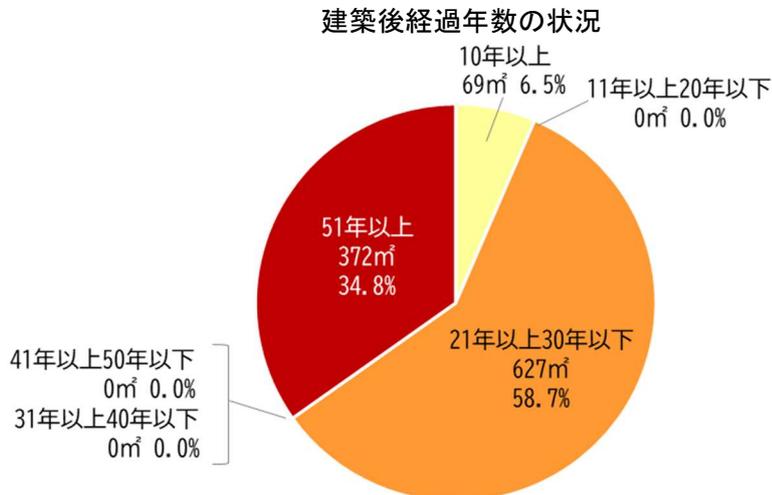
②施設配置図



③老朽化の状況

【経過年数】

建築後経過年数をみると、21年以上30年以下のものが627㎡(58.7%)と最も高い割合になっています。新屋敷倉庫は築年数が51年以上となっており、老朽化が進んでいます。



【建物調査】

いずれの施設も 2016（平成 28）年の調査の対象外だったため、2020（令和 2）年に目視による現況確認を行いました。確認された主な劣化は以下のとおりです。



④管理運営に要する経費

「文化財倉庫」は 2016（平成 28）年度に旧石けん工房を転用して整備しており、改修にかかる経費が発生しています。また「新原・奴山古墳群展望所」は、建物の整備および観光案内のサービスにかかる経費が反映されている 2018（平成 30）年度に増加しています。

（単位：千円）



※施設の維持管理や行政サービスに要する費用のほか、固定資産台帳上の減価償却費（工事・備品等）を計上し、職員人件費は経費に含めていません。

※新原・奴山古墳群展望所は、遊歩道等の建物関係以外の経費は含めていません。

(2) 施設の役割

【福津市文化財事務所】

遺跡出土遺物や写真・図面等記録類を整理・保管する拠点施設です。測量・撮影機材の保管場所、発掘調査報告書を常設する書庫としても機能しています。

【本木文化財倉庫・新屋敷倉庫】

発掘調査で出土した土器等の遺物や市内で収集した民具を保管する役割があります。また発掘調査現場機材・資材の保管場所としても機能しています。

【文化財倉庫】

1階は現場機材類・消耗品類を保管する倉庫となっています。2階は発掘調査で作成した図面類の保管の他、遺物の写真撮影場としても機能しています。

【新原・奴山古墳群展望所】

世界遺産新原・奴山古墳群の便益施設として機能しています。詰所棟は土日祝日を中心に観光ボランティアガイドによる解説を実施しています。

(3) 現状と課題

【福津市文化財事務所】

発掘調査整理作業を行う市内唯一の施設で、今後も継続使用の必要があります。築26年を経過し建物・設備が老朽化しており、外壁や屋根を含めた大規模改修の検討が必要です。

【本木文化財倉庫】

2026（令和8）年度に不燃物処理場の拡張のため移転することになっています。

【新屋敷倉庫】

築52年を経過しており、周囲へ影響を与えないよう対策を検討する必要があります。

【文化財倉庫】

2016（平成28）年度に建物内部の改修工事を行い、倉庫等に使用しています。築26年が経過した為、劣化状況について今後も経過観察をする必要があります。

【新原・奴山古墳群展望所】

新しい施設のため改修等の必要性はありません。ただし、台風等などによる強風の影響は受けやすい環境にあります。

(4) 進捗状況および計画

- ・現時点では大規模な改修が必要な箇所はなく、今後は必要に応じて修繕を行います。
- ・総合管理計画において文化財等施設は「それぞれの施設保有の必要性を検討します。また、施設の維持が必要な場合は、予防保全の視点を持ち、長期利用ができるように維持管理を行います」としており、施設保有の必要性の検討を引き続き行うこととします。

アクションプラン（文化財等施設）

事業年度 施設名	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026
福津市文化財事務所	—	—	—	—	—
本木文化財倉庫	—	—	—	—	—
新屋敷倉庫	—	—	—	—	—
文化財倉庫	—	—	—	—	—
新原・奴山古墳群展望所	—	—	—	—	—

※計画の内容は、財政状況や災害等の状況の変化により変更する可能性があります。

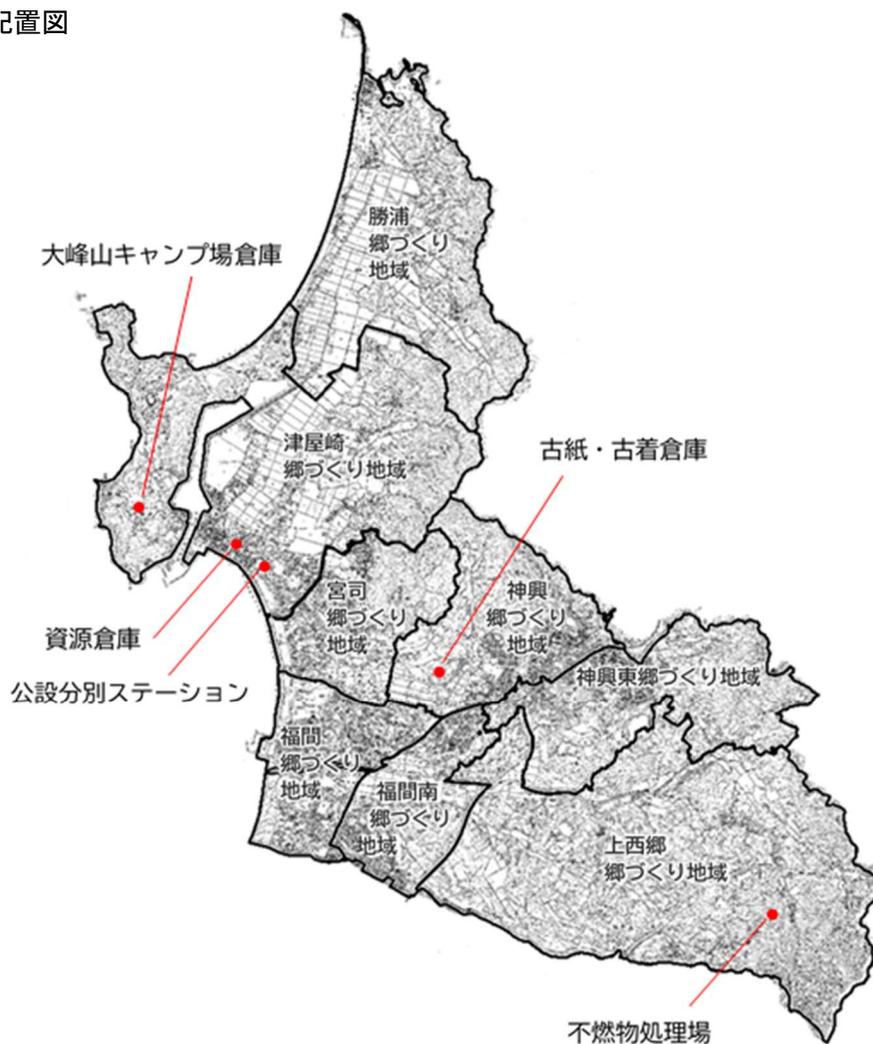
13.環境保全施設

(1) 施設の状況

①施設一覧表

施設名	物件名	竣工 年度	築年数 (2021 年現在)	構造	延床 面積 (㎡)	耐震 性能	避難所
不燃物処理場	管理人棟	2020	1	軽量鉄骨造	12	あり	—
	選別場	2020	1	軽量鉄骨造	55	あり	—
資源倉庫	資源倉庫	1997	24	軽量鉄骨造	116	あり	—
公設分別ステーション	分別ステーション (A棟)	2005	16	鉄骨造	92	あり	—
	分別ステーション (B棟)	2010	11	鉄骨造	183	あり	
	分別ステーション (C棟)	2010	11	鉄骨造	92	あり	
	門扉	2010	11	アルミ等型 材	0	あり	
大峰山キャンプ場 倉庫	倉庫	1989	32	木造	40	あり	—
古紙・古着倉庫	倉庫	2012	9	軽量鉄骨造	8	あり	—

②施設配置図

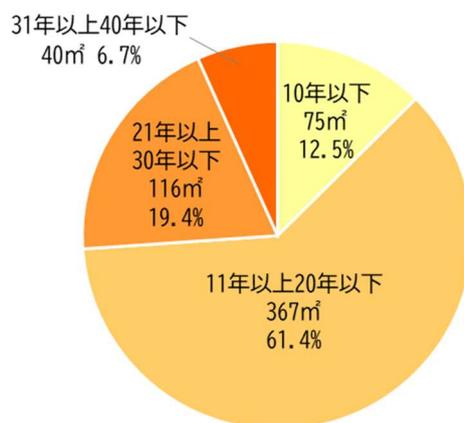


③老朽化の状況

【経過年数】

建築後経過年数をみると、11年以上20年以下のものが367㎡(61.4%)と最も多くなっています。

建築後経過年数の状況



【建物調査】

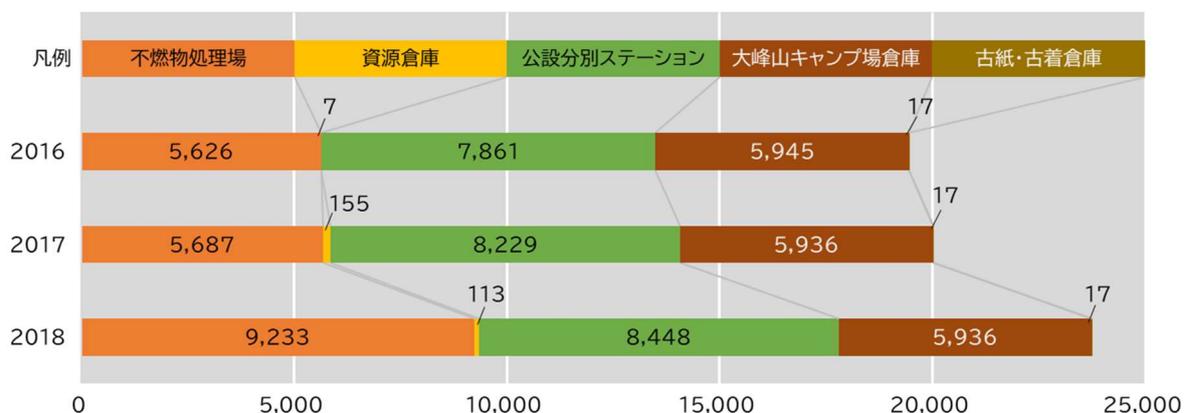
いずれの施設も 2016（平成 28）年の調査の対象外だったため、2020（令和 2）年に目視による現況確認を行いました。確認された主な劣化は以下のとおりです。



④管理運営に要する経費

「不燃物処理場」は、埋め立て処分を行う面積の拡大のための測量を行ったことから、経費が増加しています。

（単位：千円）



※施設の維持管理や行政サービスに要する費用のほか、固定資産台帳上の減価償却費（工事・備品等）を計上し、職員人件費は経費に含めていません。

※大峰山キャンプ場倉庫の経費は、自然公園や市所有以外の建物関係の経費は含めていません。

（2）施設の役割

【不燃物処理場】

コンクリートや陶磁器類等の不燃物の埋め立て処分のための施設です。分別収集で出された不燃物が清掃業者を通じて持ち込まれる他、一般市民による搬入も受けてい

ます。

【資源倉庫】

ごみ袋の在庫を保管する目的で建設されましたが、うみがめ課のイベント用の道具も一部保管されています。

【公設分別ステーション】

公設分別ステーションとして月4回一般市民のごみの受け入れを行っています。利便性が高いことから、利用者が多く、特に引っ越し時期は混雑しています。

【大峰山キャンプ場倉庫】

大峰山キャンプ場管理棟の横にあり、キャンプ場運営に必要な清掃用具、工作用具、貸出物品等を保管しておくための施設です。

【古紙・古着倉庫】

火～金で一般市民のダンボール等古紙や古着などの古布を受け入れています。人口増加により利用者数が増加し、近年では古紙が倉庫に入りきらない場合もあります。

(3) 現状と課題

【不燃物処理場】

管理棟は老朽化が進んだことにより建物自体が傾くなど執務を安全に行えない状態であるため、2020（令和2）年度に建替を行いました。

【資源倉庫】

老朽化が目立つものの、鉄筋の柱は十分な強度を持っていることから、災害が発生した時の必要な物品を準備する拠点としての活用も検討しており、今後の利用のための補強を行う必要があります。

【公設分別ステーション】

転入者数の増加と昨今の感染症の影響により、排出されるごみが増加、現施設では対応が困難になりつつあります。また、強風による影響により、毎年シャッターの破損等が発生しています。

【大峰山キャンプ場倉庫】

築30年以上が経過し、各所に経年劣化が認められます。また屋根が老朽化しており、雨漏りを起こす恐れがあります。

【古紙・古着倉庫】

現時点では大規模な修繕等は必要ありません。

(4) 進捗状況および計画

- ・現時点では大規模な改修が必要な施設はなく、今後は必要に応じて修繕を行います。
- ・大峰山キャンプ場が含まれる大峰山自然公園については、経費削減に向けた維持管理の見直しを検討します。
- ・総合管理計画において環境保全施設は「それぞれの施設保有の必要性を検討します。また、施設の維持が必要な場合は、予防保全の視点を持ち、長期利用ができるように維持管理を行います」としており、施設保有の必要性の検討を引き続き行うこととします。

アクションプラン（環境保全施設）

事業年度 施設名	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026
不燃物処理場	—	—	—	—	—
資源倉庫	—	—	—	—	—
公設分別ステーション	—	—	—	—	—
大峰山キャンプ場倉庫*	—	—	—	—	—
古紙・古着倉庫	—	—	—	—	—

※*…第3次福津市行財政改革大綱の対象施設

※計画の内容は、財政状況や災害等の状況の変化により変更する可能性があります。

14.公園施設（建物）

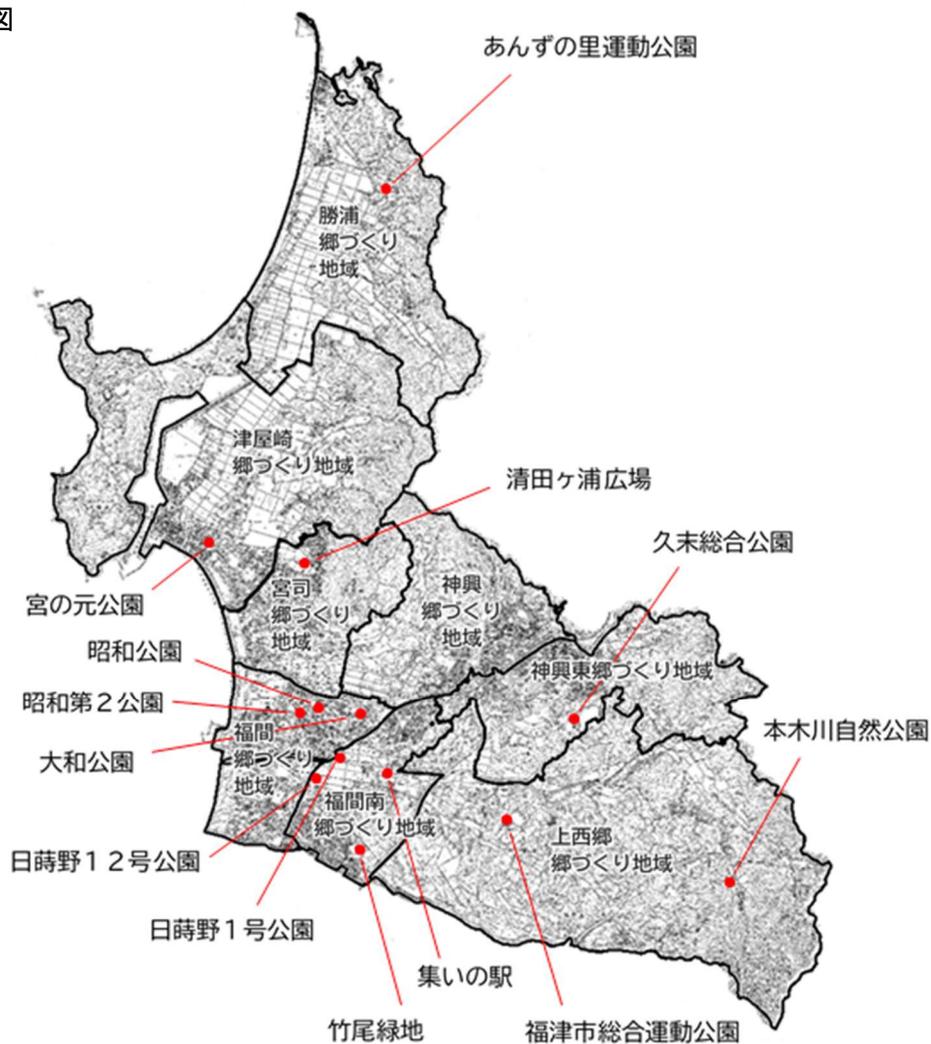
（1）施設の状況

①施設一覧表

施設名	物件名	竣工年度	築年数 (2021年現在)	構造	延床面積 (㎡)	耐震性能	避難所
あんずの里運動公園	管理事務所	1988	33	木造	139	あり	広域 (多目的 広場)
	便所	1988	33	コンクリートブロック造	42	あり	
	便所	1993	28	鉄筋コンクリート造	18	あり	
福津市総合運動公園	管理棟A	1992	29	鉄骨造	101	あり	広域 (多目的 グラウンド)
	管理棟B	1992	29	鉄骨造	142	あり	
	便所1	1992	29	鉄筋コンクリート造	50	あり	
	便所2	1992	29	鉄筋コンクリート造	50	あり	
	便所3	1992	29	鉄筋コンクリート造	30	あり	
	弓道場	1992	29	鉄骨造	259	あり	
	スタンド	1992	29	鉄筋コンクリート造	473	あり	
	スコアボード	1992	29	鉄骨造	59	あり	
	アーチェリーの場	1992	29	鉄骨造	23	あり	
	用具庫	1992	29	コンクリートブロック造	17	あり	
	東屋	1992	29	鉄筋コンクリート造	10	あり	
	四阿	1992	29	木造	17	あり	
	倉庫	1993	28	木造	109	あり	
倉庫2	2000	21	鉄骨造	112	あり		
久末総合公園	管理棟	1995	26	鉄骨造	22	あり	—
	更衣室	1995	26	コンクリートブロック造	33	あり	
	便所1	1994	27	鉄筋コンクリート造	17	あり	
	便所2	1995	26	鉄筋コンクリート造	3	あり	
	車庫	1997	24	軽量鉄骨造	32	あり	
本木川自然公園	管理棟	1997	24	鉄筋コンクリート造	84	あり	—
	便所1	1997	24	鉄筋コンクリート造	17	あり	
	便所2	1997	24	鉄筋コンクリート造	17	あり	
	便所3	1997	24	鉄筋コンクリート造	17	あり	
	車庫	1999	22	木造	20	あり	
昭和第2公園	便所	1990	31	鉄筋コンクリート造	4	あり	—
大和公園	便所	1999	22	軽量鉄骨造	9	あり	—
昭和公園	便所	2010	11	鉄筋コンクリート造	11	あり	—
清田ヶ浦広場	便所	1998	23	鉄筋コンクリート造	4	あり	—

施設名	物件名	竣工 年度	築年数 (2021 年現在)	構造	延床 面積 (㎡)	耐震 性能	避難所
宮の元公園	研修所(管理棟・ 2号棟)	1990	31	木造	229	あり	—
	研修所(1号棟)	1990	31	木造	115	あり	
	研修所(3号棟)	1990	31	木造	77	あり	
	便所(棟)	1990	31	木造	20	あり	
	機械室(棟)	1990	31	木造	3	あり	
	陶芸窯室	1995	26	コンクリートブロック造	20	あり	
日蒔野1号公園	トイレ	2010	11	鉄筋コンクリート造	15	あり	—
日蒔野12号公園	トイレ	2013	8	鉄筋コンクリート造	14	あり	—
竹尾緑地	トイレ	2012	9	鉄筋コンクリート造	17	あり	—
集いの駅	トイレ	2013	8	鉄筋コンクリート造	21	あり	—

②施設配置図



③老朽化の状況

【経過年数】

建築後経過年数をみると、21年以上30年以下のものが1,765㎡（71.4%）と最も多くなっています。



【建物調査】

いずれの施設も 2016（平成 28）年の調査の対象外だったため、2020（令和 2）年に目視による現況確認を行いました。確認された主な劣化は以下のとおりです。





④管理運営に要する経費

大規模公園（注釈参照）は指定管理者一者による運営が行われていましたが、2017（平成29）年度から公園を特色により2つのグループに分け、それぞれで指定管理者による運営が行われています。その影響でグラフ上の公園ごとの経費の配分が変わりましたが、全体としてはおおむね横ばいとなっています。

（単位：千円）



※施設の維持管理や行政サービスに要する費用のほか、固定資産台帳上の減価償却費（工事・備品等）を計上し、職員人件費は経費に含めていません。

※大規模公園…あんずの里運動公園、福津市総合運動公園、久末総合公園、本木川自然公園、宮の元公園。指定管理料は、公園面積により按分して計上しています。

※大規模公園以外の公園…昭和第2公園、大和公園、昭和公園、清田ヶ浦広場、日蔭野1号公園、日蔭野12号公園、竹尾緑地

(2) 施設の役割

【あんずの里運動公園】

市の個性を表現する交流拠点施設として、ロケーションの良さを生かして観光面に力を入れるとともに、スポーツや自然観察等を通じた市民交流の場です。

【福津市総合運動公園】

市民にとって、生涯スポーツや競技スポーツを気軽に楽しめるスポーツ振興と日常生活における健康づくりの拠点となる施設です。

【久末総合公園】

福津市総合運動公園と一体的な取り組みで利用するとともに、ダム等の特色を生かした市民の交流の場です。

【本木川自然公園】

市民の心身の増進を図る憩いの場を提供するとともに、目で見て四季を楽しむことができる花と緑に囲まれた公園です。

【昭和第2公園、大和公園、昭和公園、清田ヶ浦広場、日蔭野1号公園、日蔭野12号公園】

街区公園であり、近隣住民が遊びや運動・レクリエーション活動の場として活用する公園です。

【宮の元公園】

郷土工芸の体験学習や文化交流の場として有効的に活用するとともに、幅広い世代間の交流を活発にするための総合的施設として利用されている公園です。

【竹尾緑地】

都市公園の都市緑地として自然的環境の保全を目的としており、遊びや運動・レクリエーション活動・自然観察等の場として活用する公園です。

【集いの駅】

西郷川リバーズ計画に基づき、親水機能と調整池機能を持つ拠点施設として整備しています。地域や福間南小学校の環境学習の拠点としても利用されています。

(3) 現状と課題

【あんずの里運動公園・久末総合公園・本木川自然公園】

各部に経年劣化がみられ、屋根・外壁が老朽化し、改修が必要な状況とされます。

【福津市総合運動公園】

築 20 年以上経過し各部に経年劣化がみられ、特にトイレと野球場、弓道場の老朽化が著しく、改修が必要な状況とされます。

【昭和第 2 公園・清田ヶ浦広場・大和公園】

利用者は、近隣住民が主となっています。年間の維持管理費が高く、建物の老朽化とトイレの構造も男女別ではなく、身障者用もないため、近隣のトイレ設置状況を鑑みながら改修が必要です。

【昭和公園】

利用者は、近隣住民が主となっています。各部に経年劣化がみられるため、経過観測と予防保全が必要です。

【宮の元公園】

利用者はほとんど定期利用団体です。築 30 年が経過し各部に経年劣化が認められます。特に外壁と空調機が老朽化し、改修が必要な状況とされます。

【日蒔野 1 号公園】

利用者は、近隣住民が主となっています。各部に経年劣化がみられるため、経過観測と予防保全が必要です。

【日蒔野 1 2 号公園】

利用者は、近隣住民が主となっています。各部に経年劣化がみられるため、経過観測と予防保全が必要です。

【竹尾緑地】

利用者は各地域から来園しています。各部に経年劣化がみられるため、経過観測と予防保全が必要です。

【集いの駅】

親水機能を持つ施設として不特定多数の方が利用しています。

(4) 進捗状況および計画

- ・「本木川自然公園」は、2025（令和 7）年度での新たな管理手法への移行に向けた検討を行います。
- ・その他の施設は、現時点では大規模な改修が必要な箇所はなく、今後は必要に応じて修繕を行います。
- ・総合管理計画では公園施設（建物）について「安全性に留意して維持管理を行います。その上で、老朽化が進み、長期間利用していくことが難しく、安全性に問題のある施設については撤去などを行いながら、公園機能を維持していく必要があります」としており、この記載に沿った維持を行います。

アクションプラン（公園施設（建物））

事業年度 施設名	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026
あんずの里運動公園	—	—	—	—	—
福津市総合運動公園	LED改修 遊具改修	—	—	—	—
久末総合公園	—	—	—	—	—
本木川自然公園*	—	—	—	新たな管理 手法へ移行	—
昭和第2公園	—	—	—	—	—
大和公園	—	—	—	—	—
昭和公園	—	—	—	—	—
清田ヶ浦広場	—	—	—	—	—
宮の元公園	—	—	—	—	—
日蒔野1号公園	—	—	—	—	—
日蒔野12号公園	—	—	—	—	—
竹尾緑地	—	—	—	—	—
集いの駅	—	—	—	—	—

※…第3次福津市行政改革大綱の対象施設

※計画の内容は、財政状況や災害等の状況の変化により変更する可能性があります。

福津市公共施設等総合管理計画
個別施設計画（第1次アクションプラン）
庁舎等 編

令和4年3月発行編集

福岡県福津市 総務部契約管財課

〒811-3293 福岡県福津市中央1丁目1番1号

TEL 0940-43-8135 FAX 0940-43-3168

URL <http://www.city.fukutsu.lg.jp>